萩尾望都
Hagio, moto

5月12日、福岡県大牟田市に生まれる。
別冊少女コミック連載の
「ポーの一族」シリーズで
爆発的人気を得て今日に至る。
1976年小学館漫画賞受賞。
名作「11人いる!」「スター・レッド」のほか、
最新作に「残酷な神が支配する」などがある。

カバー・イラスト…………萩尾望都
カバー・デザイン…………鈴木成一デザイン室

訪問者

萩尾望都
Hagio, moto

訪問者

萩尾望都

小学館文庫
はA-4
¥562

9784091910141

1920179005622

ISBN4-09-191014-9

C0179 ¥562E

定価：本体562円＋税

訪 問 者

オスカーの出生にまつわる秘密……それが父母の愛を破局に導き、思いがけない悲劇を呼び寄せた。母を亡くしたオスカーと父グスタフのあてどもない旅が始まる。名作「トーマの心臓」番外篇の表題作ほか、戦時下のパリで世界の汚れを背負った少年の聖なる怪物性を描いた「エッグ・スタンド」、翼ある天使への進化を夢想する「天使の擬態」など、問題作3篇を収録。

訪問者

萩尾望都
Hagio, moto

訪問者

萩尾望都

小学館文庫
はA-4
¥562

5月12日、福岡県大牟田市に生まれる。
別冊少女コミック連載の
「ポーの一族」シリーズで
爆発的人気を得て今日に至る。
1976年小学館漫画賞受賞。
名作「11人いる!」「スター・レッド」のほか、
最新作に「残酷な神が支配する」などがある。

カバー・イラスト……………萩尾望都
カバー・デザイン……………鈴木成一デザイン室

訪 問 者

萩尾望都

ISBN4-09-191014-9

C0179 ¥562E

定価：本体562円＋税

訪問者

オスカーの出生にまつわる秘密……それが父母の愛を破局に導き、思いがけない悲劇を呼び寄せた。母を亡くしたオスカーと父グスタフのあてどもない旅が始まる。名作「トーマの心臓」番外篇の表題作ほか、戦時下のパリで世界の汚れを背負った少年の聖なる怪物性を描いた「エッグ・スタンド」、翼ある天使への進化を夢想する「天使の擬態」など、問題作3篇を収録。

目次

訪問者 3
城 103
エッグ・スタンド 137
天使の擬態 237
エッセイ 折原みと 288

訪問者
Moto Hagio
萩尾望都
小学館文庫
訪問者
萩尾望都
小学館文庫

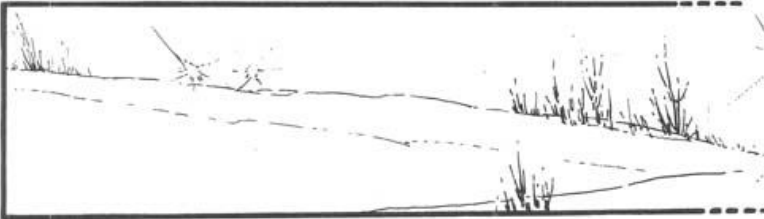
訪問者

Molto sostenuto
14になるまでに才能ののびたほうの学校に入れるんだってさ ママは
ほほう
で きみは… 音楽が好きかね 絵が好きかね
どっちも ぼくね
ガリバー旅行記が好きだ
ほほう! 冒険か!
うん ひとりでさ
それと犬ね 犬飼いたい
犬 いるだろ?
あれは パパが 飼ってるんだ
ああ 自分のが ほしいんだね?
そう うちじゃ みんな 自分のを 飼ってるんだよ
ママは何を 飼ってる?
ボクだよ
で ボクだけ なにも 飼ってないんだ

ぼくの家の庭には
なしの大木があって
5月になると
まっ白な
花が咲く
そのころになると
結婚の記念日だと
ママは言って
白い
チョコレート
ケーキを焼く
パパは
甘いケーキは
食べない
かわりにだまって
キルシュか
ビールを飲む
パパは無口だ
ママは言う
酒飲みのルンペンと
結婚するんじゃ
なかったわ

ママはお勤めし
パパは売れない〝芸術的な〟写真ばかり撮っている
ぼくらはけっこうすてきな一家だと思う
バーン
ママ！
パパ！いる？どこ？
ねえ！
うるさいわね静かにして…パパはまた職業安定所よ
いまねいまね
表通りで子猫が死んでるんだ
それを親猫がなめてるんだよ
食べてるんじゃないの
育たない弱い子猫は親猫が食べてしまったりするわ
…どうして
ちがうよちがうよ
子猫は死んでるんだ
親猫は知らなくて起こそうとしていっしょうけんめいなめてるんだよ
猫ぐらいなんなのよ！死んでるならしかたないでしょ？
おまえだってパパについて鳥を撃ち殺しに行くじゃない！

さ
今日は
絵画教室
でしょ!?
さぼっちゃ
だめよ!
……
ぼくは
家の中で
ときどき
行き場が
なくなるんだ
……
猟はルンペンの
パパの趣味だ
ぼくはとても
悪い子なんだよ
銃の音が
快感なんだ
もんね
だから
パパが銃を
かしてくれたら
なぁんだって
撃ち殺しちゃうんだ
鳥も
猫も
ウサギも
敵も
宇宙人も
宇宙人が
友好的だったら
どうするね
友だちなんかは
どうするね
……そしたら
……撃たない
……ほんというと
鳥なんか撃っちゃ
かわいそうだよね
でも……こうして
猟にくるじゃない
やっぱり
悪い子なんだ

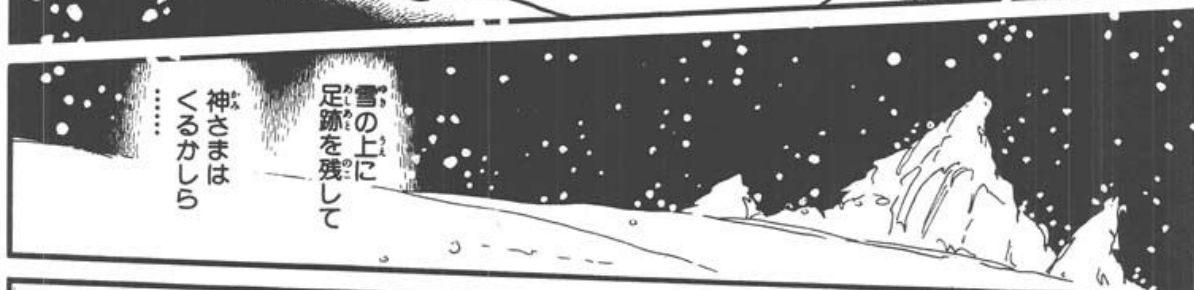
おまえ　神さまがきた話　知ってるかい
ううん　知らない
そして　森の動物を　たくさん殺している　狩人に会った
「おまえの家は?」と　神さまは言った
「あそこです」と　狩人は答えた
「ではそこへ行こう」　裁きをおこなうために
教会にも　行かないパパが　神さまの　話?
あるとき……　雪の上に　足跡を　残して　神さまがきた
神さまが　家に行くと　家の中に　みどり児が　眠って　いた……
それで　神さまは　裁くのをやめて　きた道を　帰って　いった
ごらん……　丘の雪の上に　足跡を　さがせるかい?　オスカー
……冬ごとに……

ぼくは雪の上に神さまの足跡をさがした
――たいせつなものがこの世にはあるのです――
ぼくは冬ごとにパパが好きになった
――たとえ
家では無口でぼくを無視していても
ルンペンでママとケンカばかりしていても
いつごろからだろう？
春になってもママが白いケーキを作らなくなったのは
それでもぼくは思っていた
ぼくの一家はうまくやってると
――あの事件が起こるまでは――

ぼくが9歳のクリスマスの前だった
もう一か月も前からカレンダーの小窓をひらき
きみんちもうクリスマスマジパン買った？
みんなでクリスマスを待つのだ
うちはいつも姉さんが作るんだ
ぼくはくるみ割り人形にされてた…アレレ？
ほら〝魔法で〟ぬかした！
2×2＝4
4×2＝8
8×2＝
……
チョキ
チョキ
チョキ
オスカー
学校ではクリスマスの数日前に父兄を招いての学芸会が開かれるのだ
おーし
もういっこ
ほらーっわかんなくなっちゃった
このわっか太く切りすぎよォオスカー
たはァぼくも太いかなァと思ったんだけど…
ハハ
いす動かすなってば
こわくなーい？

なん日も練習した劇は大成功！
パパ
まああなたは？
やさしいクララ
ぼくは魔法でくるみ割り人形にされていた王子だったのです
いつもおしゃまなとなりのニーナ
リンリン
きょうはかわいくみえたりして
パチパチ
よかったァ！
わーセリフとちっちゃった
わかんないうまかったうまかった
まあ校長先生
いつもうちのオスカーがお世話になって
ライザーさんでしたないやこれは
オスカーのおかあさまですか？お美しいですなァ
うちの子はわがままですから
どうぞこちらへ
いや お若い 結婚なさってるとは思えませんな
まァ

ママ　ぼく どうだった
あんなに やれるなんて ママ　鼻が 高いわ
芸術性にばかり こってましてね なかなか 売れませんの
パパ
パパ　ぼく どうだった？
先に 帰るよ
商社へ お勤め ですって？
ご主人は？
え…… カメラマン ですの
パパ！
ぼく いっしょう けんめい やったのにな
何よ 今日は！ ふてた態度で 先に帰って
いまさら 何を とりつくろう 気だ！
だれの先生だ めいっぱい こび売りや がって！
何を 言ってるのよ

まただ――
こんどは何が
原因かしら
いつも原因なんて
ぼくには
わからないけど……
あなたは息子のことなんて
ひとつも考えてないのよ
だれの息子だ
だれのって
言うのよ
何をしてるの
部屋にお行き！
また寝る時間を
守ってないのね！
おやすみ
なさい
どうして
言ったとおり
しないの！
ママは
毎日働いて
疲れてるのよ
どこの
家でも
パパとママは
あんなふうに
ケンカする
のだろうか
どこの
家でも
子どもを
さして
だれの子だと
言うのだろうか
――ぼくは

——パパとママの子ども
なんだろうか
ほんとうに
——

雪の上に
足跡を残して
神さまは
くるかしら
……

そして
言ってくれる
だろうか
ぼくは
この家に
いてもいいと
……

ママ おはよう!
……
カチ
ボッ
四年生にもなって気がきかないストーブもつけないで……
ミルクもわかさないで飲んで……かしなさい!
ごめん…なさい
……パパ起こしてこようか
ママ
パパはあの犬連れて猟よさっさと出かけたわ
……わたしたちがもし離婚したらおまえはわたしとくるでしょうね? オスカー
そんなの……ぼく
ぼく学校行くミルクいい
行ってきます!
ガタン
プク
プ
ママ 今日は会社休むわ…だから早く帰ってらっしゃいね

ケンカしたあと
別れるだの
出てくだの
これまでもよく
あつたんだ
……
となりの
ニーナと
チビだ
おはよう
オスカー
なんだァ？
これ！
雪だるまよ
アハハッ
パパも
手伝ったの
見て見て
これママ
パパ　わたし
これ
ぼーく！
へえ！
おもしろい
ぼくも
作ろうかな
あ
わたし
手伝ってあげる
そうだ
帰ってから
作ろう
雪だるま
パパと
ママと
犬の
シュミットと
ぼく！
はやく
仲なおり
するように
サクサク
サクサク

ただいまァ！
マ……
あ
おまえなの
う…ん…
ほんとに
おまえが
生まれたとき
あの人は
これ見よがしに
あの犬を
飼いだしたんだわ
あの
ママ…
ぼく庭にいるよ
あとでいいもの
見せてあげる
からね
ママが
昼間から
お酒
飲むなんて
はじめてだ
はやく
パパ帰ってこないかなァ……
キキッ
パパ！
おかえり
パパ！
シュミット！
ねえ
パパ
手伝ってよ！

……なんだ？
雪だるま作るんだ！作ってママに見せようよ
あら あーら やっと お帰りね 待ってたのよ
あとでな
雪 あつめとくね
こい！ こい！ シュミット！
キィ
あなた！
いつもいつも いつもそうね！ だまりこくって 無視してそれで ことがすむと 思ってるのね！
グスタフ！
カタ

わたしたち
別れたほうが
いいわね
飲んでるな
これまで
子どものことを
考えて
思いとどまって
たけど――
オスカー!
もう
始めたの?
おっきいの
作るんだ!
パパが手伝って
くれるって!
わっ!
きゃ
こら
ニーナ!
そら
パパだ!
わァ
キャッ
パパー!

ガチャン
ガチャン
ダン

バサバサバザ
ぼくちょっと帰る
なんの音なの？いまの…何かこわれたの？
わかんない ちょっと帰る
クンクン
バタン
パパァ？
ママ!?
キュンキュン
パパ？ママ！
パパ！ママ！

パパ

ママ!?

入っちゃいかん
パパ？ママは？いま……
中だ
死んだ
どうして……
うそだよ
ちがうよ
ちがうよ
ちがうよ
うそだパパ……
おまえはおれとなんの関係もないんだ！

キューン
キューン
キュウーン
知っていた
でしょう
あの子は
あなたの子じゃ
ないわ
ワオン
あなたの子じゃ
ないわ

ジーーーーーー
グスタフ・ライザーだ
フーフ先生か？
息子が……
階段から落ちた
動かない
脳震とうかも
しれんな
動かすな
すぐ行くから
それから
ヘラが
死んだ
なんだって!?
グスタ…
ヘラガ
死ンダ
…
ソウダ……
知っていた
ソウダ
知って
いたとも
ヘラ……
おまえの口から
聞きたく
なかった……
ヘラ……
死ンダ……
だが
聞きたく
なかった
死ンダ…

――おれじゃない
なんなの？
ヘラが自殺したって？
ヘラが？まさか！グスタフじゃないのか
警察がきてるじゃないの？
ヘラを殺したのは
あのとき引き金を引いたのは
ええわたしがフーフ医師です
グスタフから電話をもらってすぐきて
奥さんのヘラが二階で死んでおりましたので警察を呼んだのです
おれじゃない
あれは
おれの知らない男だつた
おれじゃない
悪いのはおれじゃない…！

銃声がしたときあなたはどこにいました？
グチュー！

階下です
グシ
どこですか？
台所

銃声は午後3時前近所のあらかたの人が聞いてます

それであなたが部屋へかけ上がってみると
奥さんが倒れていた
銃はあなたのですね？
ゴホ！
そうです
猟に行って……帰ってきた直後です

発見者は亭主か
クシュン
だんなはルンペン
奥さんが働いてます
近隣の人はあまり夫婦仲はよくなかったと言ってます

フーフ医師へ電話したとき〝ヘラが死んだ〟と言ったのですね
グジ！
よく覚えていません

グシュ…
あなたが銃を電話口までもっていったのですか？
はいたぶん
たぶんとは？
動転しててよく覚えていません

どうもご協力ありがとうございます
奥さんの遺体は引きとって司法解剖に回すことになりますので
人間ひとりの死ですからいろいろ調べることがあるんですよ
グシュ
たとえば自殺か事故か
第三者による殺人か……とか
またお話をうかがいにくるかもしれません
わたしはバッハマン刑事ですお見知りおきを
――息子さんは？
――病院です
ああ…
ひたいを縫ってるんですな
おだいじに…
麻酔がきいて眠ってるとのことで……
病院のほうは明日なら面会できると言ってました
オイ病院に回るぞ
ズー
面会できないんでしょ？
アホ傷を縫った医者に会うんだよ
そうだ…おまえの食事を忘れてたな……

……どこだろう？
病院かしら？
ママは？
ぞくっ
家へ帰らなくちゃ！

帰らなきゃ!
帰って確かめなきゃ
何が起こったのか
ぼくがだれなのか
あら
ぼうや! オスカー・ライザーだったわね?
どこへ行くの? そっちは産婦人科よ
さ…寒いからお部屋に帰りましょうね
朝になればパパもくるわよ
ママは?
……
ぼうやのママはねえ
……
……ア
ポロ
ポロ
どうしたんですか?
……婦長さん……!

まあ　いちいち看護婦が泣いてちゃもたないわよ
……ハイ　すみません
つい…かわいそうで
でも　あの子泣きませんでしたね
婦長さんがほんとのこと教えても
まあ　そうねえ　まだピンとこないのよ　小さいし…
……そのうちわかるわよ　死んだってのがどんなことか
……やっぱり…ママは死んだらしい
じゃあ　ずいぶん前に
死んだ子猫をなめてた親猫と
反対のことがおこつたわけだね
死んだからってなんなのよ
おまえも鳥を撃ち殺しに行くじゃないの
しかたがないでしょう！
ママは自分の死でも意見をかえないかしら
ママはもういない
いなくなつた
ぼくのような悪い子がママのために泣いたらママはおこるかしら
……

ママは
もう
いない
ママは
死んだ
——パパが
殺した——
——母親が
死んだことを
もう知ってる
のです
かわいそう
ですよ
十分気を
配りますよ
気分は
どう？
オスカー
……おはよう
じつはね
警察の人がね
あなたのお話を
少し聞きたいと
いうのよ

いいよ
それがすんだらパパがくるの?
ええくると思いますよ
やあこんにちは
刑事さんなの?
そうわしはバッハマン
ちょっとだけ話しておくれ
――きのう銃声を聞いたね? そのとき何をしてた?
――ぼく庭でとなりの子と雪だるま作ってた
で家へ入ったの?
そうだけどあわててたから
ぼく階段から落ちたんだ
ぼく…
びっくりした
うそかしらと思ったけど…やっぱりほんとにママ死んじゃったんだね……
……

ぼくさ
ママに
雪だるま
作って
見せてあげるって
言ってたんだよ
グス…
パパも
帰ってきて
手伝って
くれるって……
きみのママは
お酒を飲んでた
ようだけど
お酒が
好きなの？
うん
カゼをひくと
飲むんだ
お酒って
体があったまる
でしょ？
そうか　そう
わたしも
よく飲むよ
ママは
どんな人だった
かい？
ママはねえ
きれいで
やさしくて
いつも
明るくてね
みんなから
好かれてて
パパを
とっても
愛してた
うー
う…うちの
かあさんと
同じだ
そう
そうかい
でも　パパと
ケンカなんて
すること
あったかい
ううん！
ううん！
パパも
ママのこと
とても
愛してたもの
仲がよくって
ケンカなんて
いっぺんも
したこと
なかったよ

結婚記念日になるとね
ママはまっ白な
チョコレートケーキを
毎年作るんだ
そしてね
パパは甘いものは
苦手なのに
ママが作ると
おいしそうに
食べるんだよ
それぐらい
仲いいんだよ
それに…
それに
もう
いいですか？
—パ
パパは台所の
戸口にいたもの！
ドアがバタンと
開いて—
ほんとだよ！
戸口にいたよ！
ニーナもチビも
見たもの！
さアあまり
興奮
しないで
先生いやだ！
パパ！
パパ！

よしよし…
家に帰る
わかった
わかった
まだ抜糸がすんでないからね
糸を抜いたら帰れるからね
ぼうや
いやだ!
いやだ
家に帰る
家に帰る
パパと
家に帰る
オイ…
ハア

ウラをとっていこうか
ア?
あの息子がとなりのニーナとチビも見たと言ったろ?
待てよバッハマンあんた……
あの子がまさか父親をかばって……あの子まだここのつだぜ偽証なんてできる年じゃないよ
わかってるさ
オレの気をすませたいだけだよ
ウンここでね遊んでたの
そしたらバタンとあの台所の戸が開いてグスタフおじさんが出てきたのよ
ハア
ちがうもん!
戸がバターンと開いたけどおじさんいなかったもん
あら!いたわよ!
オスカーがパパって呼んだでしょ?
でもぼく見たもんおじさんいなかったもん

ちょっと待っておくれね……じゃそのときのおじさんの服装覚えてる？
覚えてるわ！いつもの服よ茶色の猟服に黒い長ぐつよ
こうかい
あれだと下半身は見えないが……
黒い長ぐつだってどうしてわかったの？
……
ちょっとアズ立ってみてくれないか戸口に
ああ
そうよそんなふうよ出てきたとこよ
アラ…
でも……いつもの服だったから……いつもの長ぐつだと思ったのよ
メガネはかけてたろうね？
かけてたわよー
どうだろうかねえ
無用心だなカギをかけてないのか
バッ
タン
バッハマン
キュキュ
うちの台所の二重ドアはよく一方がもう一方のドアのはずみでバンと開くんだよ
そういやうちもそうだ

奥さんの解剖報告だよ

こっから入って
ここにぬけてる

延髄か
即死だな
胃の内容物は少量のミルクとクッキー
多量のアルコール……
血液にもだ
べろべろの少し前くらいかな…
"べろ"ぐらいか

少量のクッキー…
ダイエットしてたのかな
酒の飲みすぎは体重をふやすぜ
カゼには多すぎる……
あのガキめ

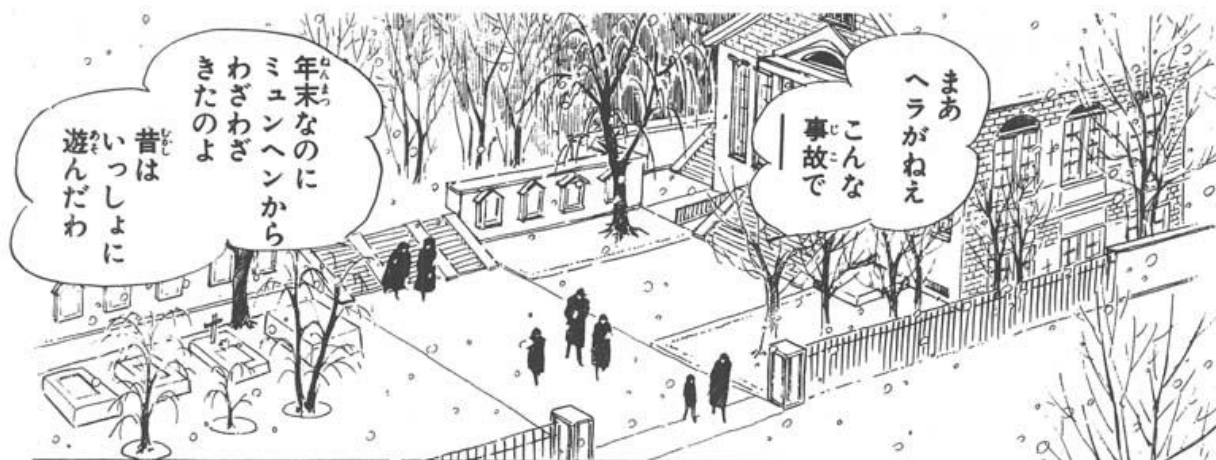
銃には奥さんの指紋がついている
ここと　ここだ
引き金には?
だんなが部屋に入って驚きのあまり銃をひろっていじってるから
あとはだんなの指紋ばかりだ
驚きのあまりね…

奥さんの右手中心に硝煙反応がでてる
窓をつきやぶって外に出た弾はなしの木の枝にくいこんだ

だんなの服の
硝煙反応を
調べても
話にならんし
……
朝から
猟場で
撃ってきた
後で……
──
もうひとつ
硝煙反応が
でてるんだ
どこだね
切れた
息子の
ひたいさ
ひたい…
よく
調べたなァ
ふむ
うーむ
猟から帰った
だんなが
荷物を
部屋に置いて
そのまま台所へ
おりてゆく
いれちがいに
少しごきげんの
奥さんが
入ってきて
銃を
いじりだす
ふと
手が
すべって──
証言によれば
だんなは
いましも
戸口から
出るところ
ひたいね
パパと
ママは
……
ケンカひとつ
しなかったよ!

…いたく
ないいか
うん
…なぐって
…悪かった
な……
……
ううん…
ちっとも
いたく
ないんだ…
もう
クリスマス
カレンダー
いらないいね
刑事さんがさ
病院で
パパとママのこと
聞くんだ
それで
ぼく
毎年ママが
結婚記念日に
白いケーキを焼いて
パパがそれをおいしく
食べるって言っちゃった
……
白いケーキ
って
チョコレート
ケーキか
ハハ
そりゃもう
なん年も前の話だ
覚えてたのか
なんで
そんな話
したんだい

……ママが帰ってきたら……葬式をしなきゃなァ…
…うん
パパ……
ママを愛していた？
ずっと一生愛していこうと思った？
――パパ！
何かわけがあったんだよね
おまえはおれとなんの関係もないんだ！
パパと別れたらママとくるわね？
ママ
パパをもう愛してなかったの？
ぼくはどうしてかわからないけど
とても不運だったんだよね
そうだよね……

パパは
ママを撃とうなんて
きっと
思いもしなかったよね
パパって人は
けっして
そんなことが
できるはずの
人じゃないもの
──ぼくが
パパの
子どもじゃ
ないから
──だから
ママを
殺したんじゃ
ないよね……
雪の上に
足跡を残して
神さまがくる
……家の中には
子どもがいる
昔 そう
話して
くれたのは
パパだよね
ぼくが
パパの子どもで
なくても
この家にいて
いいんだよね…

まあ ヘラがねえ こんな事故で──
年末なのに ミュンヘンから わざわざ きたのよ 昔は いっしょに 遊んだわ
今後は どうする つもりなの？
この家も 借家でしょ？
本気で 仕事を 考えてね だいたい あなたは ヘラと 結婚する ときも……
よしなさいよ 姉さん 子どもの前で
あの人たち ママの 身内の人？
そう おじさん おばさん いとこ はとこ
ママの 部屋で 何してるの!?
かたみ わけよ
まあ 若いわねえ ヘラ
大学の 卒業式の 写真よ これは ルドルフ・ミュラー じゃない
だれ？ ミュラーって
昔 ヘラに プロポーズ した男よ ハンサム でしょ これ これ
わたしは 言ったのよ ミュラーのほうが いいって
キャッ
かってに ヘラのものを いじらないで ください!!

ミュラーよ
子どもがほしかった子どもがほしかったのよ
あのころ放浪癖を出して家によりつかなくなったあなたを引きとめるためにも
子どもがほしかったのよ
あなたは疑いながら尋ねもせず
そのやさしさでわたしを苦しめ続けたんだわ
ミュラーの子よ
ミュラーとはそれきり会ってないわ
どうせ信じやしないでしょう
そんなことを聞きたくなかったおまえの口から！
愛なんてうそ何が愛なの？
わたしたちお互いに裏切り者同士だったんじゃないの!?

パパ
何してるの？
古いフイルムの整理だよ……
これぼく？
そうだ……
おまえが生まれたころはずいぶん写した
へえ
ほんとの親子みたいに見えるね
あたりまえだ！
こいつはおれの子だ
おれの息子だ
そうだ
おれはいまだって信じてる
おまえはやさしかった
おれを愛してくれていた
だれのせいでもないんだ……
何もかも少しだけずれた歯車のせいなんだ
だから……
許してくれ
おれのことも……

ママの
おばさんや
いとこたちが
いれかわり
遠方から
訪れては
去ってゆき
あわただしく
年の瀬も過ぎ
……
新年が
訪れた
ぼくは
ひたいの糸を
抜いたけど
カゼを
理由に
学校を
休んだ
毎朝
ニーナが
登校する
ぼくは
手をふる
このごろ
ニーナは
かわいいんだ
パパは
山のような
写真の
整理を
始めた
ぼくは
だれにも
会いたくない
パパと
シュミットと
あたたかい
家の中に
いるほうが
いい

ぼくが出る
カチャ
やあ こんにちは
オスカー
こんにちは バッハマン刑事
お父さん いるかね？
なんの話だろう
ウソがばれて パパを つかまえに きたんだろうか

おや…? 何か……
パパ 刑事さんだよ
あ いや
つい 近くまで きたもんで…
おお…いいにおい ですなァ

おひるの うずら焼きですよ 好きですか?
すばらしい! うちの奥さんは 苦手で作って くれないんだ 大好物なんです

絶品だ! あんたは料理の 天才ですな!
これは 趣味ですよ 趣味ばかりで
本職のほうは さえなくてね

いや〜 さすがに きみは両親の 多彩な才能を うけついで いるんだね 絵の先生も バイオリンの 先生も ほめていたよ

もう やめたんだ
ぼくのことを 調査したな

なぜ? おしいよ!
わたしが 若いころは 貧しくて それに 戦争で 音楽が 好きだったけど 習えなかったよ

貧しくて 戦争に行っても 音楽が好きで やめなかった人は いっぱいいるよ バイオリンの 先生も そうだよ
それに 先生のときは 二回も戦争が あったんだよ

それからパパはね お金があって 戦争はおわってて 大学に行って 将来を 嘱望されて 首席で 卒業して いい会社に 勤めたけど いまは ルンペンだ ものね

できなかったことを悔やむのは女をくどきそこねた言いわけのようなもんだよ
どこでそんなことを聞いてきた！
おばさんたちが言ってたんだ
だまんなさい
………
………
……
あ…そうだグスタフさんはプロのカメラマンだそうで！
いつかわたしなぞを写していただきたいもんですが
わたしは風景が専門なんです
人間は撮りません
……家族のほかにはね
——ママ……！

どうも
ごちそうさま
いやはや
こんどはわたしの
おごりで
いつか飲みに
行きましょう
二度とくるな
オスカー
あんたは
わしが
気にいらんか?
またきちゃ
いかんかね?
たとえあなたが
裁きをおこなえる
神さまでも
子どものいる家に
きてはいけないんだよ
は?
……

こら
シュミット
いやがっちゃ
だめだよ
……オスカー
おひるに
刑事さんに
話してた
神さまの
話ってのは
なんだね?
あれは
ずいぶん前に
パパがしてくれた
話だよ
ぼくは悪い子
だったけど……
どんな悪い子でも
家にいて
いいんだって
子どものいる家は
裁かれないんだ
パパは雪の上に
神さまの足跡が
見えるかいって
聞いたんだ
だからぼくは
毎年
雪の上に
さがしてるんだよ

いがいと
早く
新しい事実でも
見つかり
ましたか
わたしは
推理小説は
大きらい
でしてね
招きに
応じて
いただいて
ありがたい
ハハー　これは
これはです
いや　いや　いや
作者は犯人を
知ってるくせに
最後まで
かくして
いるから
ハハハ
それは　それは
……あなたは
息子さんが
あなたの子どもで
ないことは
ごぞんじでしたか？
わたしの子で
ないのなら！
だれの子だと
いうんです！
さァ　まだ
そこまではね

息子さんは
奥さんと同じ
血液型ですしね
ただ
十一年前に
お二人は
エッセンの病院に
検査に行かれて
ますすね
その結果
お二人の間に
子どもが生まれる可能性が
きわめて少ないことが判明した

妻は人工受精
すると言ってました！
病院は
だんなの大反対で
奥さんは手続きも
しなかったと
言ってます
その後
奥さんは

市の
カウンセラーに
だんなの
放浪癖に
ついて……
ガチャ
あんたは
ひとの家の
うち幕を
のぞきこみ

こづき回して
楽しんでるん
ですか！
とんでも
ない……
わたしは
自他共に
認める
善良な
市民です
それなら
口を
つぐんだら
どうです！

ほんとに
こんなことは
酒が入らないと
言えませんよ

いい
息子さんだ！
いい
息子さんです
だから

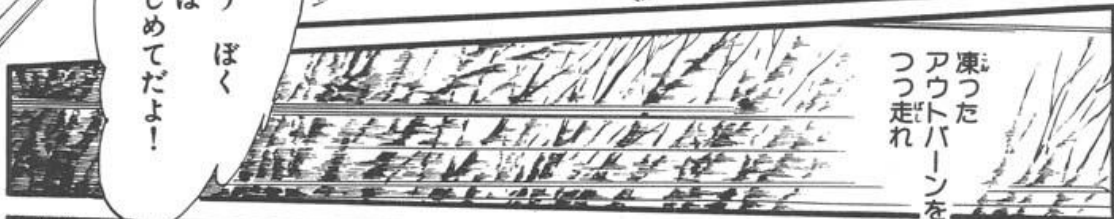
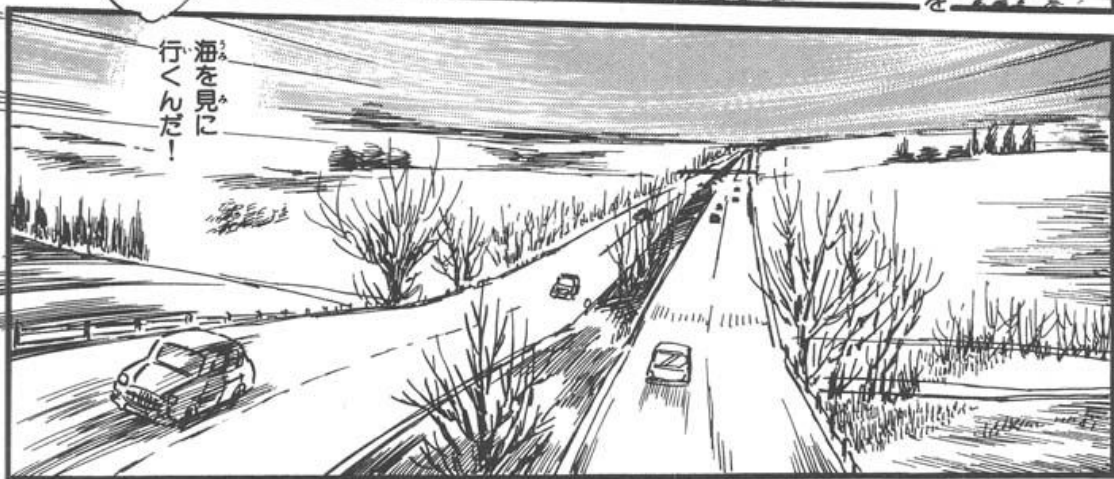
グスタフ・ライザーさん
自首してほしいんです

なんでです！

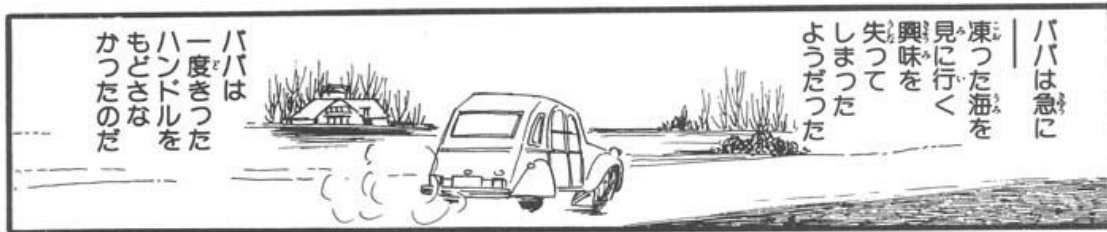
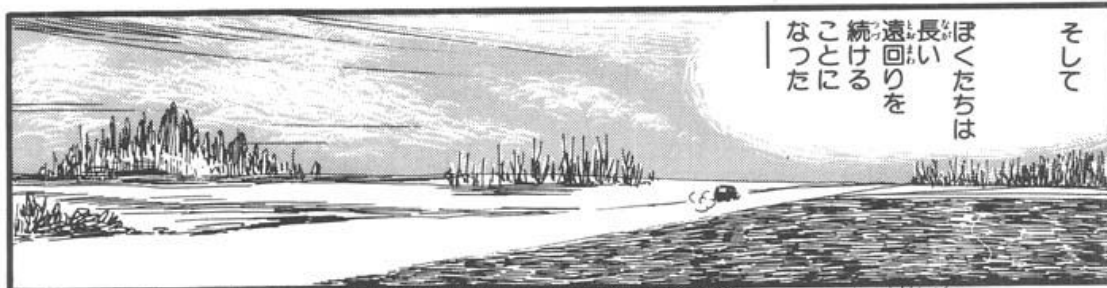
なんでって
あんたが奥さんを殺したからですよ

証拠は？
不起訴不十分
わたしはね オスカーがかわいそうだ
あんたが自首して罪をつぐなうのが一番いいんです
あの子は
あんたの重荷を半分肩がわりしてるんですよ

ごらんよ シュミット
ママ きれいだろう?
とても愛してたんだよね
パパが撮ったんだよ……
ねえ シュミット……
……どうしてママを殺しちゃったのかなあ……
……まだ起きてたのか
あ おかえり アルバム見てたんだ
パパ いろんなとこに行ったんだね
ああ…こいつはシュターデだ…
どこ?
パパが生まれたとこだよ
ここで育ったの? この海岸で?
……寒い冬には浅瀬や中州が凍ってな……
同級生が氷の割れ目に落ちて死んだことがあったな
あのあとだったな 戦争が始まったのは……
パパ 戦争に行った?
パパのパパが行って戦死した
…いまはパパのおじさんが住んでいる
今年も凍ってるな…

——海を見に出かけてみるかあした——
はじめてだろう?
ほんと!?
すごいや!
そうぼく海ははじめてだよ!
凍ったアウトバーンをつっ走れ
海を見に行くんだ!
ハンブルクの街に着いたらおじさんに電話しよう
なん時になるかわからないしな
おどかすんだね?
ぼく会うのはじめてだ
ルール地方を出て
小旅行だおべんとうもって
海を見に!
——だけど
ぼくたちは街にたどりつけなかった

堤防が切れていて道は全面工事中だつたのだ

あれはなに？ パパ
海岸の防風用のかきねだよ
しようがない……迂回して遠回りするか
うん

〝遠回り〟はすてきなことばだ
だつて旅行が長くなる
——でも それから

——パパは急に凍つた海を見に行く興味を失つてしまつたようだつた
パパは一度きつたハンドルをもどさなかつたのだ

そして ぼくたちは長い遠回りを続けることになつた——
ママァ オスカーんちこのごろだれも見ないけど……
そう？ 旅行にでも行ったんじゃないの？

とにかく家の中を見せてくれ家主さん
心配なんで
でも何も起こってませんぜ
死体でもさがしたいんですか?
…いや
あたしも困ってんだ……家賃は未払いだし
水道も電気もこれじゃあ止めないと
グスタフ・ライザーの親せきにはしから電話してみたんだがきてない
「放浪癖のある男だから」と冷淡なんだよ
なぜ市民が小旅行に出かけちゃいかんのかね?
うう!
なんてこつた!
なんてこつた! わしはなんてまぬけだ!
追いつめなきゃよかつた
たのむ……たのむ たのむから……
自殺なぞせんでくれ!
ママ…ァ
オスカーんち貸家の札が出てるわよ……
まァ そう? いつのまに引っ越したのかしらね
クスン… ……あたしさよならも言ってないのに……
クスン
クスン クスン…
そら そら… ニーナ……
貸家

──パパ！なしの花だね
──ああ
うちのなしの花も咲いてるね
そうだな……
行こうか…
うん！
一月の末に家を出てから
ぼくたちは結局わき道にそれたまま
その日その日の気ままな旅人になってしまった

ブルルル
ブルルル
よいしょっ！
動くぞっ！
パパしっかり！
あいや……
車どうするの？
動かない車は車じゃないよ
ビシャーッ

なんぎでしたねえ よーござんしたよ 近隣で宿は うちだけでね
一時間近く 歩いたァなんて まァまァ
クシュン!
寒くないか
少し寒い……
パパがぼくを ひざに抱いて くれるなんて
生まれて はじめてじゃ ないだろうか
こうやってると ぼくは だんだん
悪い子じゃ なくなって いくような 気がする
どんどん いい子に なっていける

いい天気だねえ お客さん
ああ 終点まで
あらあら ありがとう
いい息子さん ねえ
ぼくは どんどん いい子に なつて いける
これは長い 夏休みだ
ぼくはなんでも やれそうな気分に なつてくる
何に おいたてられる こともない
無口なパパと シュミットと ぼく――
いつも ぼくたちは いつしよだ

パパ!
パパ?
すみません—— パパはどこかへ行くって言ってました?
え? いないのかね? 買い物じゃないのかね?
変だなあ だまって出かけるなんて……
はじめてだ
いやだよ おまいさん 捨て子じゃないの
まさか……?
おひる代ももたない ぼくらをおいて…?
ぐう
おなかすいたね シュミット……
ホテル代だってまだだし…
あの パパのカメラだけないし……
たぶんどっかで撮影に夢中になってるんだ……
金目のものだけもって出たわけだね ——もう夜中だよ
帰ってくるよ! シュミットの飼い主なんだから! シュミットをおいてくはずないもの!
——ぼくは ともかく——
そうだよ 明日はきっと帰ってくる

そうだよ……
きっと今日中に帰ってくるよ！
おひるまで待っててよ！
昨日もそれでほだされた
あとは警察のほうへでも行ってくれ
荷物はホテル代にもらうからな
待っててくれればホテル代も払えるよ
払うよ
キィッ
パ……パ
パパ！
パパ！
パパ！びっくりしたどうしたのさどこに行ってたの？
…ふらっと出ていきたくなる…悪いくせがあってな…
……すまんな心配かけて…
ううんいいんだ……
きっと帰ってくるってわかってたもん

9月も
末になると
ぶどうの
収穫を祝う
ワイン祭りが
あちこちで
開かれる
陽気で
おおにぎわいだ
さァさ
いくらでも
おかわり
しとくれ!
泉のように
あふれて
るんだ
これを
味わわない
手は
ないよ!
ガタ
ガチャン
あ
ごめん
パパ……
ケガしな
かったか?
いいよ
服はすぐ
かわく
すぐ
かわくぅ
ヒック
え〜
これを見ろ!
これを
どうして
くれるんだ
許さねえ
ぞォ
あ……

ウ〜〜
ギクッ
これを……
ウ
こら シュミット
ごめんね パパ
ごめん なさい
……
オスカー こんなことを 気にしなくて いいんだよ
なんとも 申しわけない おわびに 一杯おごり ますよ
それで 許して くださいよ
まァいいよ ま 祭りだ いいよ
おまえが 悪いと思ってるのは 十分わかって るから
……
どうして パパは わかるんだろう
ぼくがそのとき いちばん心に 言ってほしいことばを 言ってくれるんだろう
―ぼくが いい子に なって 言って るんじゃ ないんだ
ぼくは 変わらない
ただ パパが ぼくの中から 引き出して くれるんだ―
そうなんだ
あ これ ブラームスだよ
!
……
ヘラが 好きだったな

……
ママも
いっしょに
これれば
よかったのに
そして　こんな
毎日なら
きっとだれもが
にこにこして
ケンカなんて
せずに
暮らせるのに……
やさしく
して
とがめ
ないで
わかって
くれて
……
ママが
生きてれば
よかった
のに……
……ある夜半
目を覚ますと
すそに
パパが
すわっていた
……
……！
眠ってる
ふりをした

パパの影は黒く
重っくるしく見えた
息すらしてないように
見えた
——なんて言えば
いいんだろう?
あれ
ブラームスだよって
言わない——
——パパごめん
ぼくもう
二度と
ラララ ラ ララ ラ
今日は
帰りが
おそいわねえ
きみのパパ
台所にきて
夕食いかが?
ワンちゃんも
ありがとう
冬のはじめ
——
パパは再び
失そうした

パパはこの宿に
はじめは
一日おきに
帰ってきて
いたのだが
ついに……
おい
どうするね?
あの子の
父親……だよ
エンゲリーカ
でもあの子は
きっと
帰ってくるって
言ってるし……

そういってもう
一週間だよ……
そりゃ宿はいま
シーズンオフで
ひまだけどねえ…
おじいちゃん
子どもなのに
おい出すのは
かわいそうよ
……

なあに?
エンゲリーカ
手伝って
クリスマス用の
アニスシード入りの
クッキーを
作るのよ

いいな!
うちのママも
昔はよく
焼いていたよ
昔って?

ああ
あの…
去年の
いまごろ
神さまが用意した
天国の特等席へ
行っちゃった

……

エンゲリーカも
ぼくと同じ
年ごろに
ママを
なくしたんだと
言った

!!
トテテ
チテタ
リンリン
リンリン
リン
ティララララ
リラララララ
!!
パチパチ
ハハハハ
うまい
うまい
アハッ
学芸会で
やったんだ
人のいい
宿の主人のもとで
そんなふうに過ぎて
いつのまにか
年が明けて
しまった
このまま
あなたのパパが
帰らなかったら
どうする?
どうしようかなあ
おねえさんなんて
ほしくない?
エンゲリーカなら
考えて
みてもいいや
ホント?

グスタフさんが帰ってみえたよ
オスカー
エンゲリーカ!
パパ!?
まァ!
ぼくごめんね!
弟になれなくて
バタン
パパァ!
おかえり!
……
パパ……
ああ
どうも…
お世話でした
長いこと……
いや
いや
仲よく
やっとったよ
パパどうしたの?
左目…赤いよ
そうか…?
ちょっと
いたむんだ……
ごつん
あっつ
あぶない
!

…ずいぶんほっといて悪かったな……

いいんだ ぼくたちエンゲリーカととても仲よくなったんだよ

何かほしいかい？

お金あるの？

じゃあねえ…双眼鏡！

よく見えるやつがいいな

ちょいとぼうや……

あの人はほんとにきみのお父さんかい？人さらいじゃないだろうね？えらくきたないが……

パパだよ

何をがんばってるんだ…おれの服を…

ほっといてよ！

これがすんだらシュミットも洗うからね！

ちょいと　お客さん……
あたしゃ
ひとのことは
あまり口出し
したかないけど
聞くとお子さんは
学校にも
行ってないいって？
ハア…
そりゃあ
おせっかいかも
しれないけど
あんた
父親なら
しっかり
しなきゃ
あの子毎日
つくろいものに
せんたくばかり
将来は
どうすんですよ
……

おかえり
目医者に
行ってきた？
どうだった？
ああ…その…
栄養不足
らしいよ……

きっと
ビタミンの不足だよ
レバーが栄養があるよ
なァ……
オスカー
学校に
行きたいか
……？
学校？
ぼく
あんまり
勉強
好きじゃない

しかし……いずれは
行かなきゃなァ
勉強せんと……

こうやって
旅行してんのも
勉強じゃないの
地理と社会のさ
ぼく行ったとこ全部
覚えてるよ
ルールから出て
ハンブルクだろ
南へ下って
リューネブルクだろ
ツェレ　ハメルン
カッセル　ジーゲン
コブレンツ
マンハイム……

ね？
ぼく
いまのままが
いいや
ぼく
いまのままが
ほんとうに
いいんだ
ぼく
こうやって
パパの役に
立てるし
いまにもっと
いろんなことが
できるように
なるよ
パパがときどき
いなくなっても
シュミットと
待ってることも
できるし
それに……
それに……
ぼく
パパといると
悪い子じゃ
なくなるんだ！
悪い子じゃ
なくなるって
……
クス
そうだよ
パパがぼくを
信じていて
くれるんだもの
……
……凍った海を見には
まだ……行ってないなあ……
うん
行ってみるか……

遠くまで
凍つた海の風景は
ただ
悲しいばかり
小屋には
だれかが
住んでいる
そこにも
だれかが
訪れる
彼は
迎え入れる
……
パーパ!
ぼくは呼ぶ
グスタフが
思い出の中に
帰ってしまって
ぼくを
忘れない
ように
パーパ!

おい ぼうず
ハンブルクは
どっちだい
あっちだよ
いい双眼鏡だな
こいつで
見えるのか
どれ
かしてみ
もういいだろ
おい チビ
どうして
こんなの
もってんだ
くすねて
きたんだろ
え
ちがうよ！
かえせよ！
こいつは
もらっ
とく
なに
すんだ
かえせ…！
そらっ

何をしてるんだーっ
クン
いけっ
うわっ
キャン
シュミット！
双眼鏡かえせ
かえしてやら！
ガチャ
待てーっ
おまえらっ

このドアホウ!
くそうどもっ!
バタン
ブーン

すごいな パパ

だいじょうぶか?
うん!

シュミットがきてくれたからね
だけど双眼鏡が…
ああ……

あんなやつらはろくな人間にならん!弱い者とみれば目をつけてたかる

何を笑ってるんだ?

すごいな パパ

すごいなぁ パパ

北海の風に吹かれてぼくとパパは仲よくカゼをひいた
ぼくはたいしたことはなかったけど
パパは左目を赤くしてそこからはたえず涙が流れていた
ぐすゅ
ちちち……
ぼく見える？
見えるも見えないも目なんか開けていられるもんか
お医者の話では神経疲労だそうだ
そういうのは心のプレッシャーをとりのぞけば治るんだって……
クーーン
パパシュミットがけさから元気ないよ
パパたちのカゼがうつったかな
人間のカゼもうつるの
知らんがたぶんな
この街の獣医はどこかな…

ああ
カゼのようですな
注射をしときますよ
これはいくつですか？
11年とちょっとです
じゃあ……十分気をつけてやってください
年のせいで体力がひどく弱っているようですから
はい
シュミットはぼくと同じ年なの？
おまえが生まれたとき買ったんだよ
ヘラがおまえばかりかまうもんでな……
ヘラはいやな顔をしたなあ……
あてつけだと言って…
パパ！シュミットが薬をはいちゃったよ
シュミット？
えらくよだれが出てるな
こじらせたのかもしれん
……おい

重病の犬だって?
こまるよ!
うちだって犬を
飼ってるんだ
うつったら
どうして
くれるんだ
車を
呼んでくれ
医者へ連れていく
いっしょに
出てってもらうよ
うちはね
病院じゃないんだ
パパ
なんだと
おれたちは
客だぞ!
家族ぐるみ
病気の
客なぞ
めいわくだよ!
ゴゴ
ゴオオ
人でなし!
病気の
つらさを
思い知れ
このやろう
出てけーっ
パパー!
ライザーさん
言いづらいが
伝染性の病気を
併発しています
重いんですか?
シュミット……
クーン
……今晩もてば
いいんですが

パパは今晩シュミットについているから
おまえ駅前でホテルを探してそこにいなさい
どうしてぼくだけ？
熱が七度二分から下がってないじゃないか
このうえおまえのカゼの心配までパパにさせようってのか？
パパだって七度三分を上下してるじゃないか
シュミットはパパの犬だからパパが心配する権利がある！
パパのカゼは……
ホテルへ行けーっ
いやな一夜だった
そのときがシュミットを見た最後になった
……そう言えばぼくはママの最期も見なかった
さっき
……死んだよ

なにしろ目が
痛くて痛くて
涙が止まら
ないんだ
医者のやろうが
カンちがいして
えらく同情
しやがって
シュミットは？
どうしたの？

病院の裏手に
墓地があったんで
埋めてもらった……

…ほんとうに…？
…シュミットは……
…苦しがってた？

苦しがってたよ
……聞くな
思い出したく
ない……

あっけない……
あいつ……
かわいそうにな

……

おふろのあとの
ドライヤーが
好きだったな……

どきん
——もしこんど
パパが
出てったら
……
もう
帰っては
こないかも
……
しれない
だって
——
だってもう

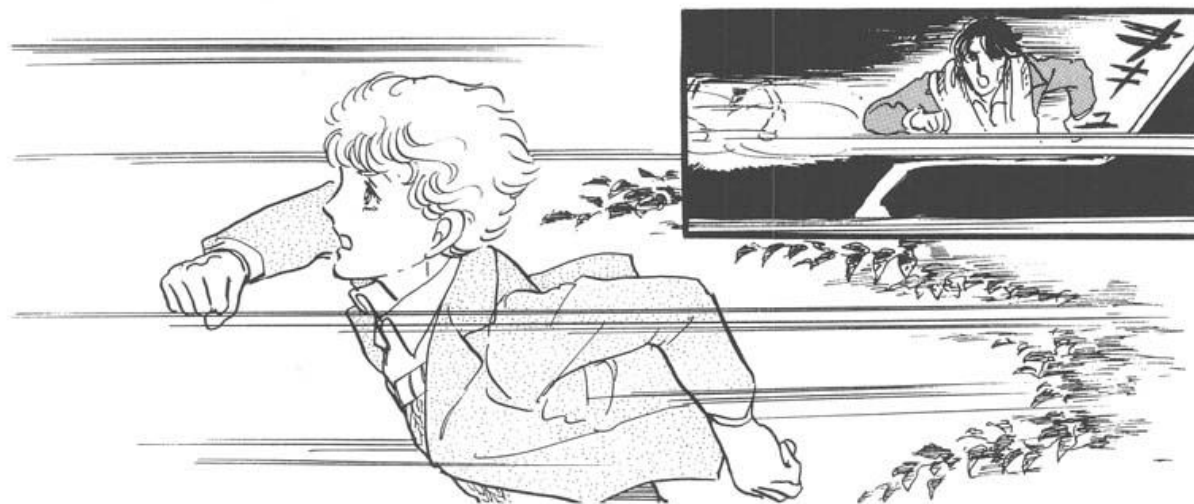
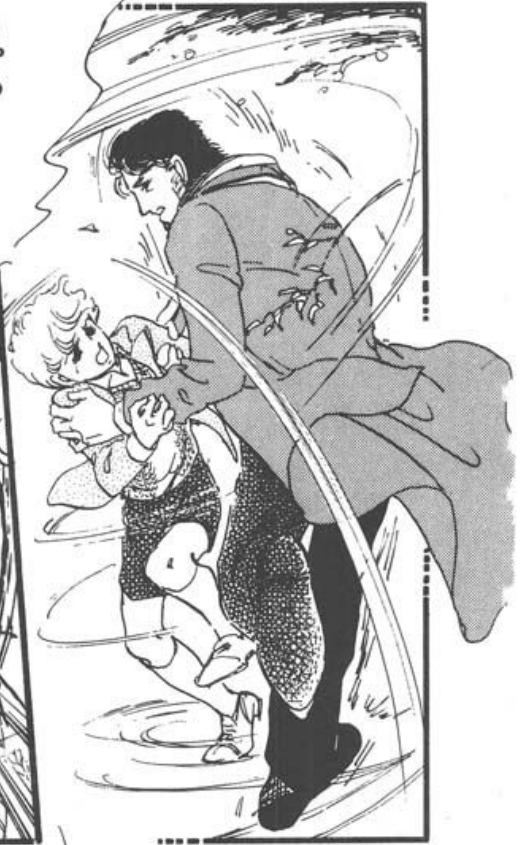
ターン……
シュミットがいないいんだもの……!
シクンクンクンクン
……シュミットかと思った
もういないのに
ワンワンワンワン
ある夜
やはりパパの影があった
小さく細かった
以前見たときよりもっと もっと重たげに
パパの左目はほとんど見えなくなっていた……
パパお祈りをさせて
神さまはこないでほしい
パパを苦しめないでください
ママパパを許してください
おねがいです

おねがいです

ひとりになりたいんだ……
とにかく……おれはだめなんだよ……とにかく……おれはもうできないんだよ
もうおまえを連れていけないんだよ……
……
──それでな
カールスルーエの少し先にパパの知りあいがやってる学校があるんだ……
そこは寮があってな…
おまえと同じ年ごろの子がそこで寝起きして勉強したり遊んだりしてるんだ
──学校?
そう──そう
どれぐらい?

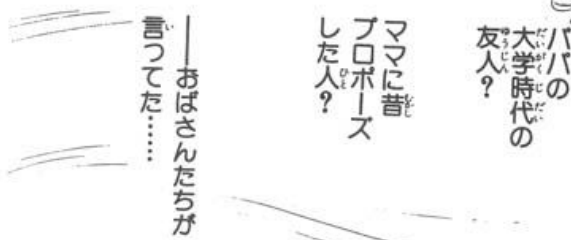
――南米に行こうと思うんだ……目が見えなくなるまえに
――夢をもつのはいいよね
あそこは……明るくて熱くて広くて……
古いラテンの血が眠っている大陸なんだ
どのみちパパの人生だだれにも肩がわりはできないさ
どれくらい?
一年……くらいかな
二年……かな……それかもう少しか……
……だから
おまえは学校に……
――うん…パパ――わかったよ
ぼくそろそろ勉強したいし学校はいいな
だからぼくそこでその学校で待って……
ちゃんと勉強して…
……
……

シュミットのつぎにはぼくを捨てるんだ!
オスカー!
オスカー!
オスカー!!

待ち……待ちなさい
待ちなさい！

じゃあ
ママをかえせ!
パパには
いらない
いらない
だれも!
ママを
かえせ!
……
だま……
ママを!
だまれ
だまれ
……
かえせ!
だまって
くれ……!

ゴホ
ゴホ!
ゴホ!
ゴホ!
……そんな目で見るな……!
ヘラと同じような目を…して
おれをせめるな……!
おれはだめな男なんだだから……!
見るな……

……パパ
―パパにとって
雪の上を歩いてくる神さまは
それはぼくの顔をしていたの?
あなたを裁きに訪れた人はぼくなの?
あなたにはじゃあ
ぼくのなりたかったものがわからなかったんだね
ぼくは……そうなれなかったんだね

たぶん
5月は……
一年中で
いちばん
すてきな
季節だ
──どっちがいいのかな
暗く寒い冬に
いやなことを
すませるのと
明るい いい月に
悲しいことを
むかえるのと
あの家の
なしの花も
いまは満開だ
ろうね
どっちが
いいのかな……
──なんていう
学校?
……なんていった
かな

この街の高等学校ならシュロッターベッツだね
校長先生はミュラーっていうんだ
ああそうそうどうも
この一本道さ
……！ミュラー？
ぼく聞いちゃいけないかな
パパ――
ミュラーってだれ？
パパの大学時代の友人？
ママに昔プロポーズした人？
――おばさんたちが言ってた……
パパ帰ってくるよね
ぼくはパパの子だよね
……何か言ったか？
なんでもない……

カチャ
……やあ
……おまえか
ルドルフ…
待ってたよ!
驚いたよ!
いきなり
電話を
くれるものだ
から…
──なん年ぶり──
これが
息子だよ
……
ミュラー校長だ
あいさつおし
オスカー

……
ようこそ……よくきた…よく…よくきたね…
あいさつしろ
……こんにちは!
ギュッ
ヘラによくにてるだろう?
さあ入ってくれ
時間がないんだ後はよろしくたのむよ

校長先生によくたのんでおいたからな
いい学校だよく勉強しろよ
グスタフ!
そりゃ急じゃないかひさしぶりに会ったんだから……
年寄りみたいに昔の思い出話でもしようってのか?よしてくれ
パパぼく
——パパ
南米の色切手をはった絵ハガキがほしいな
うそつき
ああ送るよ
うそつき
じゃあな元気でな
パパ

パパ
ぼくほんとに
なん年も待ってて
いいね？
パパほんとに
帰ってくる？
帰ってくるね？
ギュッ
――パパ！
グスターーフ!!

さあ…オスカー
長旅だったのだろう？
つかれたかい？
部屋へ行って休むかい？
……
――ううん！
授業うけたいな
ぼく学校一年ぶりなんだ
――パパが言ってたからね
よく勉強しろって――
部屋に行ってもひとりじゃつまんないし
そうか……
じゃあ…
ああ…ユリスモール
オスカー・ライザー
転入生だよ
きみのクラスだ
案内してくれたまえ
はい校長先生
放課後またおいで
いろいろ話そう
ひとりできたの？
いやおやじとさ……！
南米から
へえ…？すごいね

うーそだ
ルールからさ
南米へ行ったのは
ぼくのおやじだよ
ギッ
それは遠くだねえ
オスカー？
——ぼくは
いつも——
たいせつなものに
なりたかつた
だいじょうぶだよ…
オスカー
彼の
家の中に住む
許される子どもに
なりたかつた
ねえ

プチフラワー 1980年春の号に掲載

城（しろ）

とんとんとん
アンナとベルはつれていきますわ
じゃあ
ママン……

ごろごろ小石

ラドクリフ
…ぼくパパといる…
おまえわたしといてくれるのか
ラドクリフ
とんとんとん

ラドクリフ手伝ってくれるのかい

ぼくはぼんやり道のはた

小鬼はお城をつくってる

夢はときどきあざやかだ
目覚めは悲しい
いつものように
なにが悲しい？何事もない
夏にはいちご冬にはだんろ
大好きなパパといつも一緒なのに
だけど
ラドクリフ
とんとんとん
わたしはおまえのために名門の学校を選んだのだよ
うんパパ…
パパは仕事で海外へ
でも…パパひとりでさみしくない？ぼく…
聞きわけのいい子がわたしは好きだよ
二年ぐらいすぐだ
ぼくは寄宿学校へ
とんとん……とん
──息子さんは？
今年11です

—五年前に離婚しまして—
男手ひとつで……
それは苦労でしたね
ええ 妻がわたしにおしつけていきましてね
あの子は神経質でわがままで
かなり扱いにくい子ですから……
なに？パパもママも
ぼくが要らなかったの？じゃまだったの？
とん……

いいつけは守ったし勉強だってしたし
パパの嫌う下町の子と遊んだりしなかったし
夏も冬も大好きなパパと
石ころごろごろ
ラドクリフよく勉強するんだよ
はいパパ…
ラドクリフ手伝ってくれないのかい
とんとん……

ここはさわがしい

知らない子ばかり

せーんせ！転入生がスープを飲みませーん

スプーンは汚い

まわり中ほこりっぽい

手すりもノブも机も

どうしたのきみ手ばかり洗ってるね

いくら洗っても手の汚れがおちないみたい

みんな汚い

ああ やっと来たね！
さあ はこんで 石を
お城をつくらなけりゃね
お城…？
だれでも つくらなきゃ だれでも 自分の城をね
ああ きみは パパを 憎んでるね
どうして
きみが 拾ったのは モンク石さ
さ ここに 置いて モンクの壁を つくろう
ああ きみは 学校キライ だね
どう して
これ キライ 石 だもの
捨てちゃ ダメダメ
本心だろ？
ぼく ぼくパパを きらっちゃ いない！
ぼくが 悪いんだ ぼくが病気 だから

学校は？
学校も
キライじゃ
ないの？
……パパが
ぼくのために
選んでくれた
学校だから
好きにならなくちゃ……
きみは
おくびょう
だなあ
だって
どうしろって
いうのさ
ぼくは
パパに
好かれ
たい
モンク石も
キライ石も
いやだ！
いい子に
なりたい
いい子に
！
完璧な人間になれたら
どんなにいいだろう
こんにちは
ラドクリフ
——たとえば
今日から
同じクラス
だよ
ぼくは
アダム
よろしく
仲良く
やろうね

オー！
だんまりのチビが来たこいつしゃべれんの？
こらオシアン！
彼フランスに住んでたんだよフランス語は上手いもんさ
親切なアダムにくらべて
オシアン！これはなんだ
ぼくは上級クラスに入ったけど
あァギリシア語で～～す
センセー読めないんですか
オシアンはいちいちつつかかるワルだ
この二人が友人だなんて信じられない
すみません先生かきなおさせます
ほらオシアン！
へへーっ
おいチビ知ってるか
この教室オバケが出るんだぜ
おまえのその机になな病気で死んだ子の……
たたりが……
キャアアア
スポッ
オシアン！
ゲコ
ぼくは上級クラスに入ってて手を洗うクセがなくなった
でもオシアンは好きになれない

ラドクリフいる？
わー！アダム！
アダムまたチェス教えてよ
アダムがだんまりに用だってさー！
おとうさんからだよよかったたね
プレゼントだ！
みせろよだんまり！
くつだ！
はいてみろよ！
ガボガボのくつだ！
だんまりじゃなくてアヒルだ！
アヒルアヒル！
こら静かに！みんな！
パパくつをありがとう
足にぴったりです
いい先生ばかりで
友達もたくさんできました
寮長のアダムは親切で人気者です
ぼくたちは気が合います
親友になりました
大好きなパパへキスを
とんとんとん
ううんうそじゃない
みえつぱりじゃない
これはぼくの夢なんだ

くつは足にぴったりです
いい先生ばかりで
すげーいーかっこし
あのくつガボガボのくせに
まだあるぜ!
アダムと親友だってさ
……
わっ
ぼくのてがみっ
どっどっどろぼうっ
なんだよベッドの下におっことしてたくせにさァ
そんならおまえはうそつきだい
イー
うそつきうそつき
なにしてるんだ!
ラドクリフ

ラドクリフ?
……
ぼく…ただ……
パパに…心配させないようにって……
…てがみ……
うんそうだよラドクリフ
夕食だから学校にもどろうよ
きみの手紙はほんとうのことだよねえ
ほらくつだってすぐ足にぴったりになるだろうし
ぼくたち親友になればいいだろ?
ね?
……

親友になってくれる
アダムが
本当に?
それならぼくほんとにいい子になる
アダムにふさわしい人間になれるように
がんばる
アダムラドクリフはどうかね?
ええ 彼とてもすなおな子ですよ
そうかきみにまかせてよかったよ
あたりまえのことですから
ぼくはみんなに仲良くしてほしいと思ってるんです
人間はもっとお互い理解しあわなけりゃね
けんかしたりいがみあったりばかげてると思うよ
うん そうだねアダム
ぼくのパパとママね
ぼくがむっつのときリコンしたんだ
それってリカイが足りなかったんだよね
そうだね子どもはいつも身勝手な親の犠牲になるんだ
ぼくらは決してそんなおとなになってはならないんだよ
そしてまたそういうおとなを許すことも大切だと思うね
ユルス……
そ…そうだねアダム

よー
アヒル
来てたんか！
パカ
オシアン
アヒルじゃなく
フンだよな
おまえは
キンギョの
フン！
くい
キンギョの
フン！
それ
ぼくの…
うぷー！
いくつ砂糖
入れてんだ
よく飲むよ
こんなの
オシアン きみ
キャルガリ先生の
レポートだした？
レポート！
オレあの
センコー
でえきれェ！
人種的偏見
もってやがる
もンな！
ポロ
きみ こんなもの
まだ
吸ってるのか
やめたって
いってただろう
？
やめたよ
入れてた
だけだよ
吸ってないって
アダム ほんと
パサ
オシアン

ぼくが捨てておくよ レポートやるんだよ
……はーい
いやそーにするなよ
手伝ってあげるからね ラドクリフ きみも
フランス語得意だろ？
なんでぼくが
ぼく オシアン きらいだ！
どーして あんなのと友達でいるの アダム
あいつ不良だよ
ボート小屋かどっかでタバコ吸ってるにきまってる
ラドクリフ
きみ……って
人種的偏見があるんだね
は？
ジンシュテキ……？
きみがそういうつもりなら 手伝ってくれなくていいんだ
おこらせた
ごめん アダム！
ぼく そんな……
ごめん アダム
ラドクリフ わかってくれたならいいんだよ
だれだって まちがうときは あるものね
そりゃ オシアンは ギリシア人だけど いいやつだよ
そもそも 悪人って いやしない
そう思わないかい？
うん……

オシアンは
ギリシア人だったのかあ
どうでもいいけど
彼はワルだ
だけど
アタムはいい人間だから
オシアンをかまってやってんだ
〝いいやつ〟だなんてね

アタムは立派だ
とん
とん
とん
石を積んで
城をつくるとしたら
アタムのはきっと
とん
とん
とん

まっ白い……

いいなあ
ぼくもあんなふうになりたい
立派で欠点がなくてみんなに好かれて……
近よってお城のうらがわをごらん
うらがわ？
うらがわは……
あれくずれてる……？
どうして？アダムは完璧なはずだ！
そいつ神様かい？
こんなあながあいてるはずないよ！

ふんふん これは あんたの見る アダム像さ
黒い石を 積んでない
キライ石も モンク石も
イジケ石も シット石も 転がって
そんな 汚い石 アダムには いらないよ!
お城をつくる 石の数は きまってる 白と黒と 半分ずつ
白い石を もってくれれば いいじゃないか!
そんなの だれが きめたんだ?
彼ら 自身が

オシアンの城だよ

うらがわをごらんよ
………

黒い城だ!
オシアンにぴったりだよ!

こんなに内面がまっ白ではきずつかざるをえないだろう

彼は本当はいい人間だってこと?見た目が悪いってこと?
きみの見方も極端だがね

ぼくが病気だからかたよった見方をしてるっていうのかい?

ラドクリフ

ぼく悪い子になるくらいなら死んだほうがいい

ふう

とんとんとん

とにかく
――レポートは完成した
キャルガリ先生ちは川向こうの家だよ
ザ
わざわざとどけんのォ
おくれてるんだから早いほうがいいよ
おーい
どいて――っ
シャ
メディーナ!
ガチャン

ありがとう
キャルガリ先生！
おおアダム
あらあなたの生徒さんなの
やだスカートがジョン
優等生のアダムねジョンがいつもほめてる
ああ…あなたがオシアンね！
すぐわかったわエキゾチックね
ふん！
ふんだって？女の人に……
ぼくたちレポートもってきたんです
オ
家すぐそこよよってらして
ぼくたちはお茶をごちそうになったけど
オシアンが失礼なもんでアダムは場をとりもつのに苦労してた
ふふんふん

人の家で あんな態度は ないよ オシアン
行こうって いったのは オレじゃ ないぜ！

あの すけべーじじい いつのまに 結婚 したんだろ
二十は 年が ちがうぜ
よせよ 人の プライバシー を
ンね〜 ア〜タ〜ン

スカートが やぶれちゃっ た〜〜ン いたい〜〜〜ン
オシ アン！
ぷん
メディーナ どこがいたい？ ここか？
うぐぐ アハーン
こいつの内部に 無垢の壁が あろうが
ぼくは オシアンは キライだ！

それから 数日後の ことだった

あれ？ 先生の 奥さんの 自転車だ

それは 川のそばの 古い ボート小屋

クスクス
クス クス
クスクス
クスクスッ
それ
ほんとに?
——ぼく
い 言わないほうが
よかったかな
だけど
どうして
いいか
わかんなくて
——信じられない
………!
ラドクリフ
ぼくが
なんとかする
からだれにも
言うんじゃ
ないよ
たのむね
うん
アダム

なんとかするってこんどは
タバコのように捨てるだけじゃすまないぞ
これでアダムはぼくのものだ
おまえはどういう人間なんだいラドクリフ
あこがれの白いアダムの城のように
良い完全な人間になることが望みだったのではないかい
おまえのやってることはいったいなんだい
ちがう
ちがう
オシアンが悪いことをしてるから
正しい道にもどしてやるんだ
オシアンのやってることにくらべたら
ぼくがアダムの関心を引きたいぐらいの打算なんか
悪いうちにはいらない
そうだろうそうだろう?
ふんふん
打算は悪くも良くもない
ごまかしが問題さ
ごまかしていると
わけがわからなくなり
ものが見えなくなるからね……
とんとん
……とん

じょーだんじゃねえよっ
だれが言ったんだ
だれが見たって
でも……ラドクリフがそう言うんだ
じゃあうそなのか?
知るか!
オシアン!
このチクリ野郎!デバガメ!
人のあとつけやがったな
わ
オシアン!
ラドクリフはきみのことを心配したから
おれの心配?ケッ!
ぼくらの気持ちも考えてくれ
心をいれかえて
あの奥さんにだって罪を犯させちゃいけない
奥さんは先生などヘッとも思ってやしねーさ!
愛情のない結婚のほうが罪じゃねーか!

好きでもない
じじいと
一緒に
なってさ
オレのほうが
ずっと本気だ!
いっぱしの
くちきくな
ガキ!

オシアン
きみが冷静に
なれないなら
ぼくから奥さんに
忠告するよ

ギロ

彼は
どうかしてる
恋愛するな
とは
言わないよ
女の子を
好きになるにしても
ふつうの女の子で
いいじゃないか
わざわざ
先生の
奥さんを……

オシアンは
不良なんだ
なにを言っても
ムダだよ
いや
説得
してみる
もいちど
彼だって
罪なことを
してると
思ってるはずだ

ぼくはつらい
ぼくの友人が
こんなことに
……

翌日から
雨になった

オシアンはアダムを無視し逃げ回っていた
オシアンを見なかった？今日は朝からいないんだよ
朝からずっと？
まさか……
またボート小屋……
パチャ
パチャ
ア
オシアン！

うわーーっ
オ
オシアン！
こっこっ
ころし
こっ
はなすんだ
追っかけ
なきゃ
まて！
オシアーン！
逃げちゃ
いけなーい
きみは
殺す気
じゃ
なかった
自首
して…

だめだ
だめだ
だめ
こんな
つもりじゃ
こんな
つもりじゃ
ぼくは
こんな結末を
考えてたん
じゃない
う……う

ちょうど
川にワナを
かけにきていた
農場の人が
見てて
濁流に
とびこんだ

この人が
いなかったら
オシアンは
流されて
死んでた
だろう

オシアンは
そのまま
市の病院に
入院した

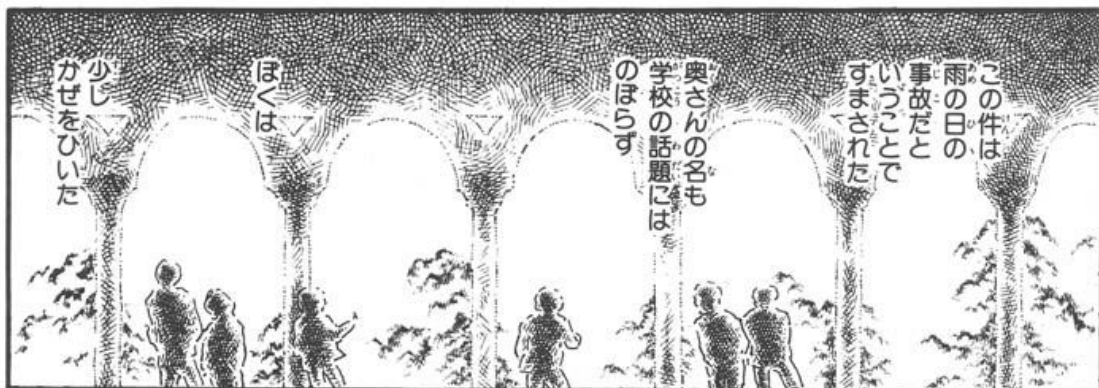
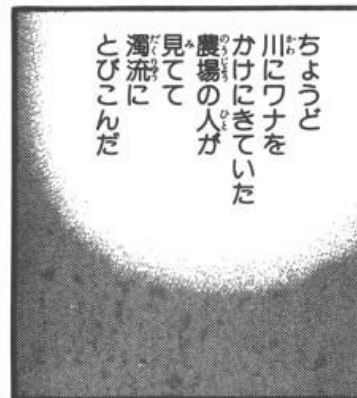
この件は
雨の日の
事故だと
いうことで
すまされた
奥さんの名も
学校の話題には
のぼらず
ぼくは
少し
かぜをひいた

その雨の日から
半月もたって
入院中の
オシアンから
ぼくに
手紙が
きた

ラドクリフ!
オシアンから
手紙が?

うん
なんて
?
ぼくは病院に
手紙を出したん
だけど
返事こないし

……
これ
中に
封筒が
入ってた
ことづて
なんだ

メディーナに
わたして
くれって
……
……

オシアンから手紙をあずかったって?
どうしてその手紙をうけとるのですかオシアンはあなたを殺そうとしたんですよ
ええ……
これ…
メディーナさん
……わたしはオシアンをうらぎったの
わたし彼と一緒に行けない
だからせめて彼の手紙をうけとるの
アダム
アダムやめて
なぜ!
ヒラッ
先生にすまないとは思わないのですか
思うわ
あなたは先生をこそうらぎってるんですよ
!
ぼくは正しいことを言ってるんだこの人に反省してほしいんだ

恋したことないのね
あきれた！
あれじゃ先生がかわいそうだ
あ　あんなのって！
ぼくには彼女のお城が見える
黒い石も白い石もみがかれて
迷いの果ての
愛のしっくいでつみ重ねられた
風の城

オシアンは
ギリシアに
帰ったと
うわさが
つたわる
ころ

キャルガリ
先生も
若い奥さんを
つれて
遠い地方に
転校して
しまった

元気よ ママ去年 再婚したの

……シルバード（パパ）からね あなたを学校に入れたって聞いて……

どう 学校 楽しい？

でも どうして 突然 来たんだろう

……うっ！

ママ！

……

どうしたんだろう 何か困ったことが あって ぼくの助けを かりに来たん だろうか

ママってば どうしたの

あのとき ……

だとしたら パパが ぼくを捨てた ときのために ママに とりいって おかなく ちゃ

おまえを おいてった けど

三人も 育てる 自信が なくて……

プチフラワー 1983年9月号に掲載

ザワ
熱心ね
あの死体と
お知りあい?

そんなに見るから
ほら警察の人が にらんでるわよ
殺人かい?
きっとレジスタンスのしわざだよ
さあむこうへ行って
いやね
あんな寒いとこで何日も転がってたくないわ

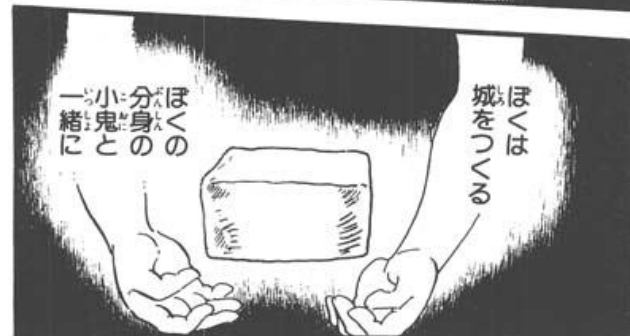
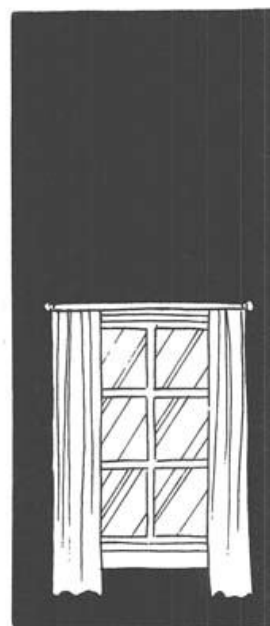
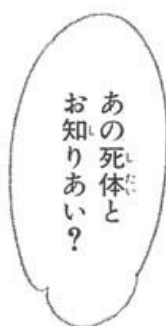
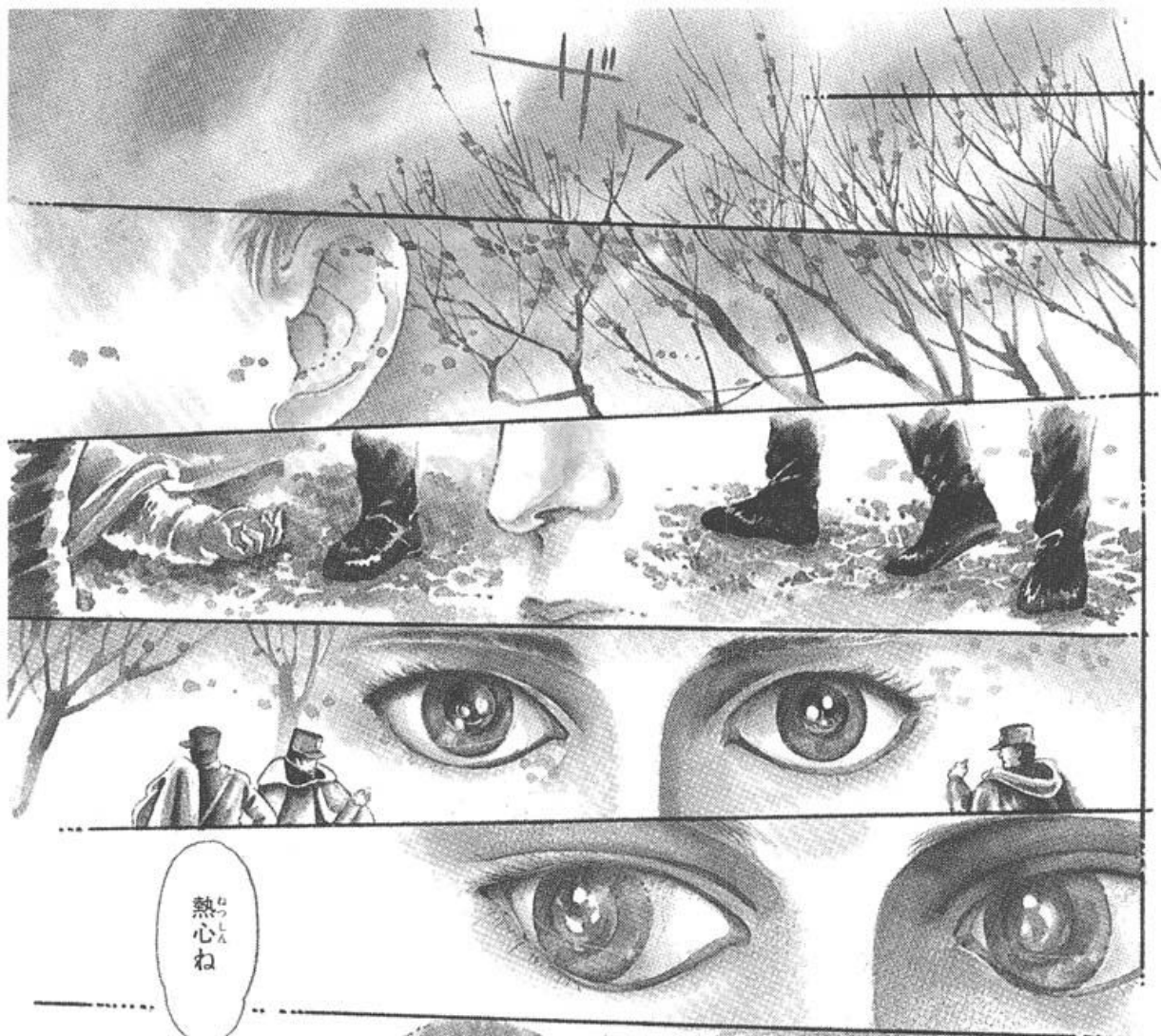
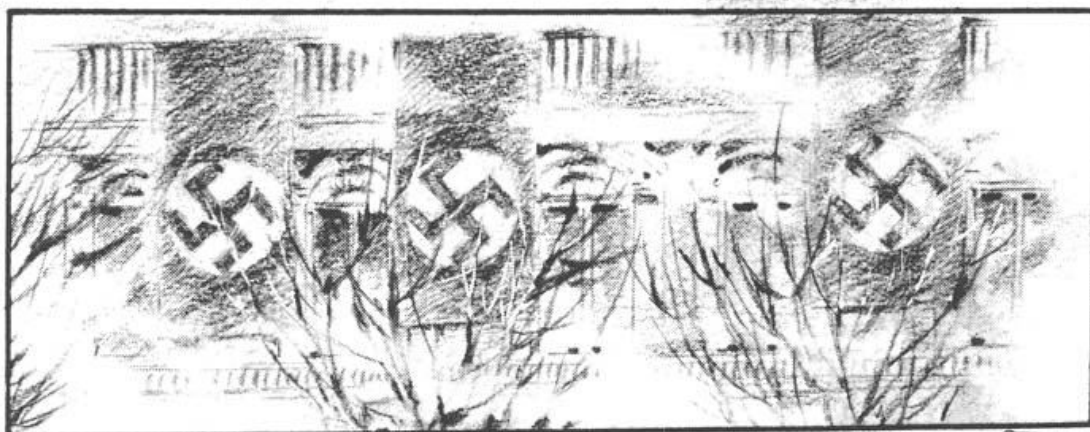
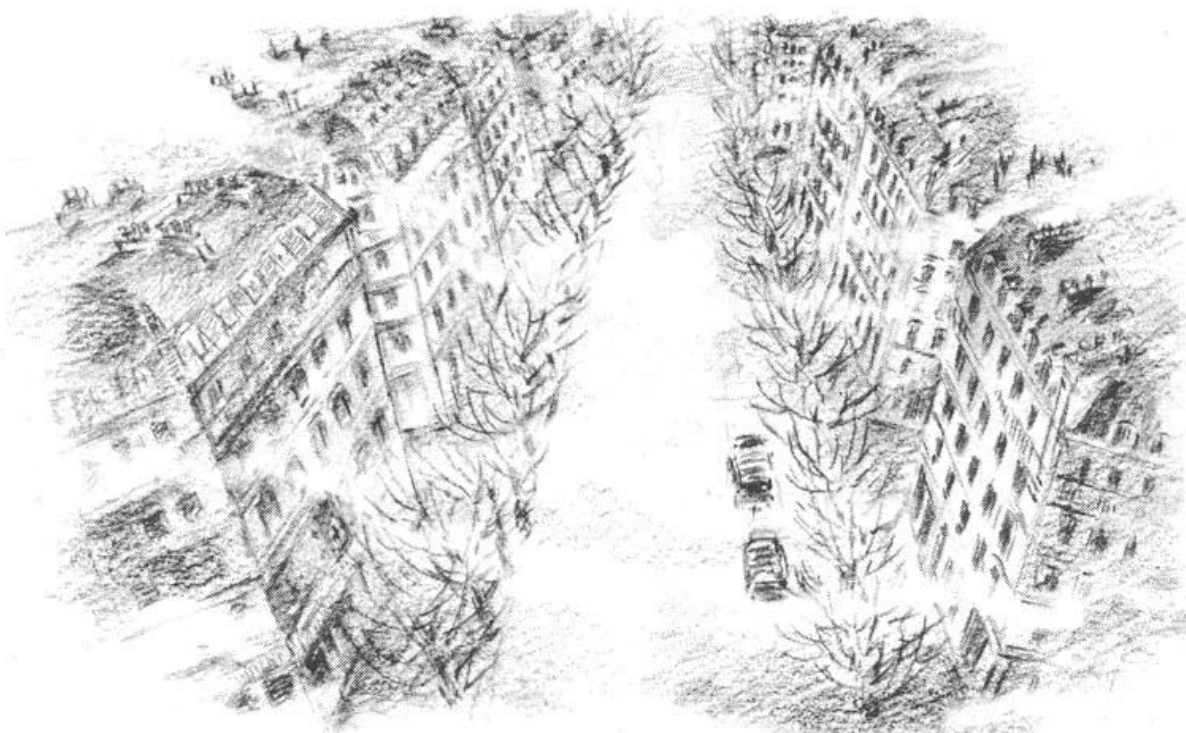
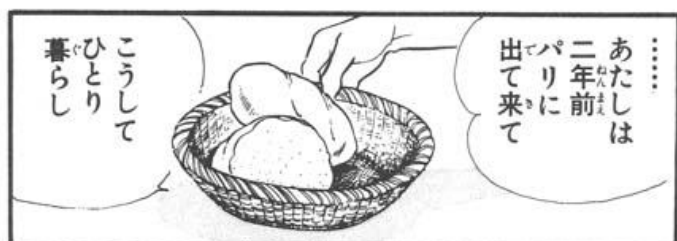
……死んでるって
え?

……どんな気分だと思う?
…は?

へんな子……？
あ食べる？
じゃねバイバイ
どうしてついて来るの
だめよついて来ても
あんたなまえなに
ラウル
あたしルイーズあんた
行くとこないの……？

エッグ・スタンド

うう！さむ！
ガタン
きょうもくもり空ね
ドイツの旗がいっぱいだ
あれはドイツの旗じゃないわ
ヒットラーの旗よ

ソファー せまいけど ねむれた?
大麦のコーヒーが あるけど 飲む?
なに 見てるの
ああ それ ニューヨーク
海の むこうの 国よ
うーんと 昔 パパが 送ってくれたの
パパは── 世界中を 旅行してるのよ
……あたしは 二年前 パリに 出て来て
こうして ひとり 暮らし
あんた 両親は?
パリに 知りあい いないの?
いない
パリは 来た ばかりで
よく わかん ない

あ　そオ
どうしよう
この子ねえ…
いつかれても
こまるしなア
……
そりゃ
ひとり暮らしは
さみしいけどさ
それでさ
あんた
……
ラウル
あの
……
コーヒー
おかわり
どう？
ま
いいか
パチ
パチ
パチ
パチ
ワ
やー
マドモアゼル
うまいねえ
ドイツ語の歌
ダンケ
シェーン
パリにいる
ドイツ人を
どう思う？
若くて
ハンサムなら
好きよ
いいねえ

あんたも客のあしらいがうまくなったねルイジ
二年前始めたころは泣いてたくせに
いまじゃキャバレー"花うさぎ"のベテラン
ルイーズって呼んでよマダム

ハイハイあんたがドイツ語が話せて大助かりさ
さあ次のお客がおまち
ルイーズ！
弟が来てるよ
え
かわいい子ね
ラウル！
ここで働いてるの？ルイーズ

きれいだねルイーズ

なんだよ もう 帰んの？
サービス しろよ ぼくはまた 明日から 戦線だぜ
ごめんね ダーリン 弟が来てんのよ きょうは
次の休みがきたら まっさきに とんで来る からね
ぼくの かわいい フランス娘
ん――
ああ 自分に ハラが 立つ
いったい誰が 戦争して くれって たのんだのよ
ああ 前線に行く ヤローどもに いちいち 本気に なってたら
乙女心は 水びたしよ
かわくまも ないわ
どすん

空襲？
でも
警報が
でてないわ
何なの？
キャー
ラウル!?
ラウル
どこ？
ぶじ？
ガチャン
テロだよ
電気
つかないか？
駐車してた
ドイツ軍の
車が
もえてる
って
レジスタンスの
しわざだよ

ラウル！ここ？
けがない？
うん
トラックが
もえてる
きれい
いやね
こわいわ
どき
だ……
だれ？
……シッ

ああ
あやしいもん
じゃない
印刷工だ
そこで
爆発が
あったもんで
びっくりして
ここに
かくれたんだ
すぐ
出て行くよ

お客のふりして
表から出たら？
すぐ電気も
つくわよ

うーん
顔見られたく
ないんだ
ヤバイもの
もってる
し……

爆弾!?
いや　本だよ
我われの……

きみにも一冊あげるできたてだ
いまのおじさんなに?
チカチカ
地下出版の人みたい……
〝自由フランスのために〟
発禁本ね
男の人の手
……パパみたいな骨っぽい手
あの手も銃をもって
戦争に行ったのかしら

ニューヨークがいいわ……
ニューヨークは戦争がないもの
戦争がないの？
そうよ海のむこうの遠い国
わたしのパパが好きだと言ってた国
爆撃もない
ドイツ軍もいない
ひもじいこともない
いまは行方不明のパパもニューヨークに行けば見つかるかもしれない
ママママ!!
ひとりで行くの？
ぼくも行きたい
ラウルいいわよ
いつかねえ
いつかね……

やァ
マルシャン

やァ
ジロ
テロに
まきこまれ
かけたん
だって？
オレが
言った
だろ？

身を守る
ためにも銃が
いるって
いや
本で身を
守ったよ
なに
言ってん
だい

オイ
ありゃ
ロゴスキーだ
フランス
びいきの
ドイツ人

チッチッ
フランスびいきの
はずだよ
パンか
肉でつれば
ハラをへらした
少年が
よりどりみどり
だもんな
悪いぜ
ジロジロ
見るなよ

暗がりで
見た
男の子に
似てるな……

細い手首
だつたな
色が
透けて……
あんな発禁本
捨てたかな　あの子

やあ
またせた
かな
マルシャン

あ
いいえ
こんにちは
ムッシュ
ロゴスキー

キャフェ

マルシャン
さる人物から
"J"リストが
手に入る
かも
しれんよ
リストの
大半は
証明書を
偽造して
パリに
住んでる
ユダヤ人だ
三百名
ぐらい

そのリストは
焼けばいいんん
ですね
どうも
その
うちの
数人は
二重にチェック
されてるらしい
から　すぐ逃がした
ほうがいい

ムッシュ
そんなもん
横流しして
あんたの身は
だいじょうぶ
でしょうね?
なーに
ウッフッフッ

ドイツも落ち目さ
先見の明のあるものはもう戦後のことを考えてるよ
敗北主義者と言われようとね

大声でそんな
なにわしは軍のオエライさんの弱味だって知っとるんだよ
だからフランスびいきでも大目に見てもらってる

まァわしは楽しんでるよ戦時下でも
フランス娘はかわいいし……
ええ先週はかわいい少年と一緒でしたね
マドレーヌ付近で

ハハハ
ゴホンゴホ

そォフランスのヒヨッコもかわいい……
じゃなおって連絡するよ
じゃ

これどうしたのラウル!?

うーんとね……
盗って来たの？
もらったの
だれに？
親切なおじさん
こんどはカンヅメもくれるって
そうねあたしだって
二年前パリに来たときは
身ひとつだったものな
要は生きてりゃいいのよ
食べよう！
気前のいい客は逃がしちゃだめよラウル
うん
……ねえ
え
なに

ねえ
死んだ人の気分なんてわかる?
どんなのかしらね?

ハハハ
わからんよ変なこと聞くね
じゃ人殺しってどんな気分?
戦争ってどんな気分?

ああどれもいやだね
もっともいまはどれもこれもありふれたことだがね
パピヨンはね……
いまは人を殺せば殺すほど英雄になれる時代だって言ったよ

誰だいパピヨンって
昔知ってたレジスタンスの人だよ

みんな戦争に愛されてるみたいだ

マルシャン！
ジロ
親仏派のロゴスキーが死んだぜ！
殺された
!!
いつ？
昨夜
どこで？
マドレーヌ近くのしけたホテルで
後ろから頭に一発銃で
クッションを消音に使ってる
誰か手引きしたんじゃないかな
死んだ
じゃあリストはどこに？
きょうもらうはずだつた
フランス娘や
ホテルでは誰と一緒に？
わからんカギさえありゃ人目につかず出入りできる

フランスのヒヨッコや

オイ!
殺されたロゴスキーはドイツ人の士官だぞ
見せしめにフランス人が何人かまた殺されるぜ!

黙ってるのか? 何かすべきだ
ジロ よせよ
テロには反対だ
もう ビラをまいたり発禁本をつくったりなんてなまぬるいぜ!

あんただってロゴスキーと会ってたんだろう? あぶないぞ
うむ……ひっこしたほうがいいかな……
逃げるんじゃなく一緒に戦おう! マルシャン!
……人殺しはいやだ……

ア しつれい

美人だ
あの子…？
……たしか
マルシャン いまは 女の子 どころじゃ ないんだ
もう！ マル シャン てば！
ガヤ ガヤ
いらっ しゃい！
ドイツ兵が 多いな
……
こんちは リリー
アラ ラウル
ルイーズを むかえに 来たの？

そう！やっぱり暗がりで本をやった娘だ
少年はロゴスキーといた子だな
ラウル？
十三…四……かなまだ子供だ
まさかロゴスキーの殺人事件に関係ない……だろうが……
あの娘はあの本を読んでくれたかなァ一行でも
姉弟かなあのふたり
ルイーズ！
はァい
ルイーズ
ルイーズか

カチャ

しつれい
この階に空部屋があると聞いて来たんだけど……

ルイーズ

6階って
ここだけよ
あとは
この上に
物置がある
けど……
電気も
ストーブも
ないから
寒いわよ

この物置も
使えんことは
ないいな
その
台所と
トイレは
共同で
使うんだね？

ぼくの顔は
覚えてない
みたいだな
ま
あの暗がりじゃ
でも
こまるわ
男の人なんて
………

いまどき生きてる
男の人は
貴重ですよ
マドモアゼル
紳士はね
ぼくは
ちゃんと
トイレそうじも
します

この窓
開くかな？
ほう！

こうして見るとパリの街もなかなかきれいいね

ベルリンとはずいぶんちがう……

かるいね
羽でもあるの
ホッ
おじさん
なんて
言うの？
マルシャン
マルシャン

キャー
こらまて
キャー
うわ
ズル
あちちち
あ 足をどうかしたの? マルシャン
いや 昔のきずさ
ダンケルクで一発くらった

戦争に行ったの？
ああ
人を殺した？
それってどんな気分かなァ
ラウル！
気分なんかないなァ……
戦場には人間なんかいないよ
このむじゃきさ
命もない心もない
破壊だけだ
無知のむじゃきさ
ラウルはときどき変なことを言うのよ………
まえも……
なに？
あ あそこらへんだわ
ドイツ人が殺されてたの
ね ラウル
あんたを拾ったとき
ん

弟じゃ
ないの?
パンを
あげたら
ついて
来たのよ
ハア
殺人事件と言えば
ぼくの友人の
ロゴスキーって
やつもね
ホテルで
殺されてね
ベッドで…
まァ
ぶっ
そうねえ
ロゴスキーの
名に
反応がない
ラウルも
ま
本名を
名のらな
かつたの
かもな……
あの子
元気ねえ
ロゴスキーの
ことが
多少
ひつかかつて
たんだけど
……
フワ
彼は
ごく
ふつうの
子供だ
まだ
おさない
たあいない……
……
時には
パンのために
ベッドに
もぐりこむに
しろ
きみ
いくつ?
ラウル
知らない
ルイーズは?
失礼ね
レディーに
帰ったらあんた
髪切らなきゃ
マルシャンは?
来月の
一日で
26
だ
え――!
わたし
来月の
二日で
17!

あんまり短くしちゃ寒いかな
チョキ
チョキ
ガキッ
いたいな
目をつむって！いい子だから

すんだ？
こっちも用意できたわよ！

すんだすんだ
さァラウル！
チクチクする

きょうはこれから誕生パーティーよ
おめでとうラウルこれプレゼント！

どうしてぼくもおめでとうなの？
いいのよ三人一緒でさァ着がえて

カタン

あら
これなに？

聖クレンソ村マリア・クレーの息子ラウル五歳
それママがくれた板小さいころ
ぼくがよく迷子になるからって

あんたのママ
マリアって言うの？
ママは
？
死んだ
一年前

そう……
それで村から出て来たの
……
じゃ
悲しかった
わね……

―ううん――

ルイーズ

あの子
強がっちゃって
……男の子って
そうね
まって
オードブルを
もってくわ

すごい！
カニの
カンヅメ
じゃないか
そうよ
ワインを
あけて！
マルシャン
きょうは
三人の
誕生日よ！

おめでとう
マルシャン
ラウル
カチ
A la votre!
おめでとう
ラウル
ルイーズ!
まァ
どうしたの
フリージア!
誕生日に
花をもらう
なんて……
はじめて!
ラウルの
セーターも
マルシャンが
見つけて来たのよ
魔法
使い
みたい!
ラー
ララ
踊って
くれる?
ルイーズ
ああ
ここが
占領下の
パリなんて
うそみたい
遠い国に
行ったみたいよ
ニューヨーク
だね
ニューヨーク?
あの
絵ハガキ?
ふふ
あれ
パパが
……

ヒラー
おっと！
早く！ルイーズ
空襲警報だ！地下室に避難しよう
Berlin

ほら
あれ
キャバレーで
ドイツ兵に
こびうって
歌ってる
女さ
このごろは
男を
つれこんでさ
フランスの
恥だよ!

ルイーズ
こっち
おすわりよ
ありがと
リリー

うちの
一人息子は
ドイツ軍に
殺されたんだよ
かわい
そうに

あたいの
恋人も
戦線で
死んだよ

要するに
あんたらが
負けるからよ
あたいたちが
こんな目に
あうのは

やっと解除だ
やれ
やれ
さ 帰って
ねよう
ねよう

どうしたの
ルイーズ
こわかった?

マルシャン
もう
わかったん
でしょ
この
ハガキの
あて先
読んだん
でしょ
ベル
リン
……

ニューヨークにもよく旅行してて絵ハガキを送ってくれたわ

それから……

ベルリンの空襲でママが死んで

友だちもいっぱい死んで

あたし……パパを訪ねてパリに来たの二年前……

でも手紙の住所にパパはいなかった

ニューヨークに行ったのかもしれないし

行方わからないの

パリだってユダヤ人狩りやってるから

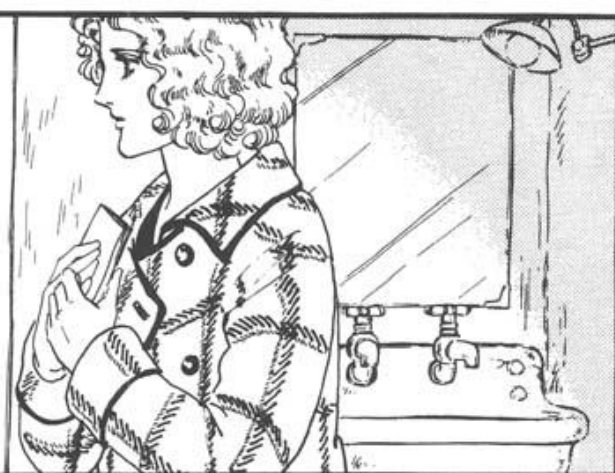
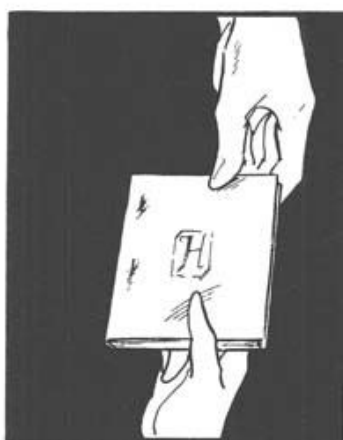
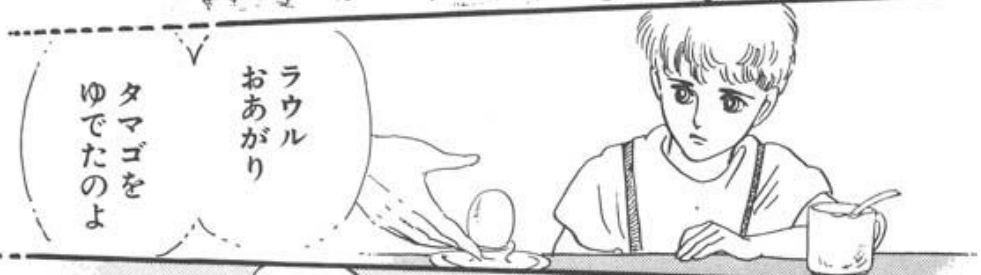
もうパパは……

心配しなくていいよ パパのことしらべてあげる
え……
あたしのこと警察に言わないの?
この本発禁本だよ
もってたの?
〝自由フランス……〟
……
おやすみ元気だしなさい
マルシャン
ルイーズユダヤ人ってなに

――わたしのことよ
でもひみつよ
誰かにばれたらわたし殺されちゃうわ……

殺されちゃう?
どうして?
だってここはフランスだもの
戦争のないニューヨークじゃないもの

ぼくにもひみつがあるよ

……
とっても愛してたから
愛?
それってへん……
ドイツ娘がフランスの男を
好きになったらおかしいかしら
うんとっても愛してると
殺すこともあるんだなァって
思うんだ
ぼくは思い出すよ
うらにわでかってたたくさんのニワトリ
夏に生まれるたくさんのヒヨコ
ラウルおあがり
タマゴをゆでたのよ

孵化しなかつたタマゴが
まちがえてゆでられて食卓に出される
死んだヒヨコは黒い
ルイーズ……ねたの？
あれはぼく
あれは世界
なにもかも壊さなきゃ
はやく目を覚まさなきゃ
死んでしまうまえに

お友だち
？
いや
ちょっと
この
色男
まァ
まァ
何か
わかった
か？

ロゴスキーの
リストだが
ゲシュタポも
捜してる
らしい
うーむ

それと
あんたに
手紙
ほォ
なつかしいな
バスクじいさん
からだ
昔
ヴィシーに
いたとき
知りあった

ロゴスキーの
リストって
なに
マルシャン
ギョッ

バカ
盗み聞き
すんじゃ
ないよ
ヒヨッコ！
？
ヒヨッコ
誰かもそう
言ってたな

よ――っ
マルシャン!

やァ
バスクじいさん!
なんでまたパリへ
いやいや
ルーアンの娘を訪ねる途中さ
孫ができてな
いやあ会えてうれしいよ 実に
四年ぶりか!

いやァ
ひいふう……
六年ぶりだねえ
あーそうか
戦争前におまえの
結婚式に出て以来だな
あの赤毛のイギリス娘と
おまえは……

ゴホン
いや その
奥さんと赤ンボは
気のどくだったな……
ゴホン ゴホン
戦争だから……
……ロンドンの
空襲で大勢の人が
なくなったからね……
お
おととしだっけ
三年前だよ

まァ
みやげだ
次のルーアン行きは
三時間後だから
ゆっくり話せも
せんが
顔見て
安心したよ
どう
南フランスは
暮らしやすいかい

うん ヴィシーの
自由地区から
こっちの
占領地区へ
来るとなんだな
かたいな
フランスじゃ
ないみたい
だ
だいじょう
ぶか
マルシャン
なんと
かね

わしの息子も
レジスタンスに
入って
ヴィシーで
あばれてるよ
脱走
したんだ
もー
このごろは
誰も
かれも
ドイツに
反逆
しとるよ

そう言えば
前の手紙で
言ってたね
ほら
子供が
未亡人の
殺人事件が
どうこうって
……

ああ
ヴィシーのね
殺人事件
少年の
あれ
つかまった?
いやァ
かいもく

……
どういう
事件って
言ってたっけ?

いや息子らが言ってたんだけどね
サガン未亡人て言ういい年増女がいてね
金持ちでドイツびいきでね
孤児だって少年―12・13の―を引きとって育ててたんだと
ところが一年前の春に未亡人はベッドで何者かに殺されてねえ
その少年は行方不明
そして去年の夏だよドイツ陸軍のA大佐ってのがね彼の家でベッドで頭を撃たれて殺されたんだけど
彼がねえやはり孤児の少年のめんどうを見てたって言うんだよ
そう同じ子じゃないかって未亡人とこにいたのと
それでやっぱり少年の行方は知れんのさ
これで終わりじゃない

レジスタンスはいくつもの小さいグループに分れてるがな
〝パピヨン〟て言う色男がいてな
これがどこの者とも知れぬ少年をかわいがってた
去年の秋さ
同じ
ベッドで頭をズドン
少年は？
行方不明
それ
同じ少年？
らしいねえ 手口もかっこうも似てて
わしゃねえ そのパピヨンがね 犯人だと思うね
少年がパピヨンの手引きをしてたんだよ
子供に人殺しなんてできんよ
そいで パピヨンはゲシュタポか何かに殺されたんだと思うな

ヒヨッコとか
言ってたな
なに?
パピヨンが
そう
呼んでた
らしい
ヒヨッコ
フランスの
ヒヨッコ
じゃあ
なァ
会えて
よかった
戦争が
終わったら
ヴィシーへ
訪ねて来いよ
ガタン
ガタン
元気で
じいさんも

孤児
ヒヨッコ
公園
公園で……
ね 人殺しって
どんな気分
この子
ときどき
変なこと
言うの
公園で
この子を
拾った
ときも
ドイツ兵が
殺されて
たの
ベッドで
頭に
ズドン
未亡人
A大佐
パピヨン
ロゴスキー

やァ ヒヨッコ

まってたよ

ロゴスキーは しゅびよく やったじゃ ないか

で あったかい "J"マークの 袋

うん 彼の カバンの 中に

これ?

これ
なんなの？
なにさ
〝J〟って
ユダヤの
ことだよ
悪いことした
ユダヤ人の
リストだ

悪い
ことって？
きみの
友だちに
ユダヤ人が
いるのかい？

どれ？

字が
よめない
ぼく
ルイーズ
って
言うの
ルイーズ・ルネ

あァ
これだ
身分証明書を
偽造してるねえ

でも
きみの
友人なら
焼いちゃ
おうか？
焼いて

よしよし
ギュ

ほら
これで
いいだろ？

他の人は
どうなるの？
まァ
国外追放
だよ
殺す
んじゃ
ないの？

こまるねえ
いろんなうわさが
みだれとんで
我われはフランスの
治安に
必死なのに
女や子供を
殺すはず
ないだろ

ねえ
ニューヨーク
行きの
キップ
もらえ
ない？

ニューヨーク？
ルイーズが
行きた
がってる
戦争が
ないって
そこ
ああ
亡命ね

亡命って？
キップ
ねえ
……ヴィザも
いるし……
大変
だよ

まァ
考え
とこう

これが次のターゲットだよ
ハンサムだろ
……
この人も男の子が好きなの？
殺す相手とお近づきになりたがるから
そういうのを選んでるんだ
まァ相手をゆだんさせるいい手だね
独身で野心家さ
きみには変なくせがあって
フフッかわいい顔して
したたかな子だよ
ゆだんさせるんじゃないよ
だってぜんぜん知らない人をさ
どうして殺せるの？

ふつうはね
知らない
相手の
方が
殺りやすい
んだがね？
ううん
とっても
愛した
ほうが
殺し
やすい
……
まァ
人
それぞれ
さ
キップ
たのむね
わかった
ヴィシーで
拾って
パリにつれて
来たが
わからん
子だ
素直で
いいつけを
よく聞く
人殺し
だって
迷わずやる
おさなすぎる
せいだ
きっと
自分が
死ぬときも
迷わないに
ちがいないな
……

ラウルだ!?
いま出て来た小道の先は
ドイツ高官の家じゃなかったっけ？

そして公園に続くんだ

ドイツ兵の死体が

おい
ラウル……!

ラウル……!

まちな
ヒヨッコ
……!
マルシャン?
どこ
行ってた
帰る
とこ
どこも
おまえ
ヒヨッコって
言うのか
パピヨンが
そう呼んでた
のかい?
うん……

おまえ
ロゴスキーを
殺ったのか……?

一緒のところを
見たんだ
どうしてだ
金か
……?

ロゴスキー
だけじゃない
ヴィシーでも
……
大佐や……
未亡人や……
パピヨンや
……
おまえ
の……

しわざ
か……?

おまえ
いくつだ
13か
14か
15か

このあいだ
誕生パーティー
やったよな
おまえ

そんなこと…

やめろな……
わからんよ
おまえ
みたいな
子供が……
なんで
……

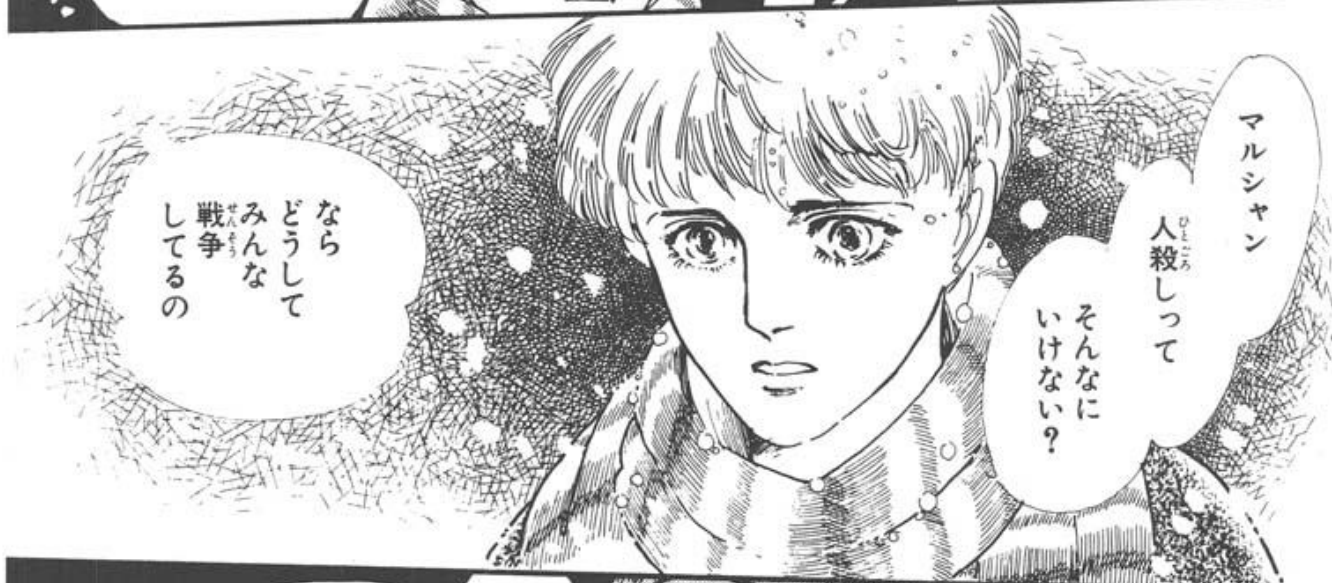
なんで…
なんで…かな
……ぼく小さな村で
ママとふたりで暮らしてたんだけど
ママはパパに捨てられたんだよ
パパが政治犯で処刑されてからママは村八分だ
ラウルおまえだけは
ママからはなれないでおくれね
ママもおまえをはなさないよ
ある夜ママを殺して
村を逃げ出したんだ

ラウル
おまえは
ママの
ものだよ
一生
ママの
ものだよ
はなれちゃ
いけないよ
ラウル
ママを
愛して
愛して
愛して
あまり
あたためすぎて
死んだ
黒いヒヨコを
だくように
ママはぼくを愛した
愛して
愛して
ぼくは
ママから
逃げ出した
ママを
殺して

ママを殺して外の世界に出ると
外の世界は戦争をしていた
ぼくは森の中で"パピヨン"に会った
きゅるる
村を出てはじめて会った人だった
いまは戦争なんだ
何をしたっていいいんだよ
は、はっ
それでパピヨンの指示できれいな未亡人に近づいて
あなたが息子のようよ
病気で死んだあの子が生きてたら……
あの女は対独協力者だ
殺した
やさしい人だったよ

大佐もいい人だった
あのホモ野郎はなゲシュタポの手先なんだ
きみは学校に行かなきゃいかんなァ
わたしの養子になってドイツに来るかい?
ラウル
ラウル
きみは村を出て
最初に会った人間が悪かったんだ
きみを殺人の手先にしたてて人形みたいに操って……
操られたんじゃないよ
ぼくがパピヨンを殺したのは……
彼がぼくのママみたいにいろいろと
ぼくを操ろうとうるさく言いだしてからだよ
ん?

そのころ街で黒い目の男に会って
わたしと一緒にパリに来ないか?
きみのやったことはみんな知ってるんだ
わたしはその腕がほしい
パリに来て……
ラウル
おまえは……!
……

おまえは……
こんなこと
こんなこと もう やめろ
ロゴスキーだってな オレはやつから 書類をうけとるはずだったんだ
何人もの人が助かるはずの
ロゴスキーは死んで書類はどこへ行ったか
その人たちは悪くしたらつかまってしまうかもしれない
つかまって殺される……
ぼくの知らない人たち
誰が―― 殺すの
それもぼくの知らない人たち
マルシャン
人殺しって そんなにいけないの？
ならどうしてみんな戦争してるの
マルシャン あんただって
戦争で 自己紹介もしないで殺しあってきたんでしょう

行ったよ
そして思うよ殺しあいはうんざりだ
戦争は
人間の心の中にある欲望か何かの炎が
狂ったように
次つぎと人から人へ引火して
とめどなくもえひろがる大火事だ
これは神様の人間に対する罰か何かかもしれないし
もともとこの狂気は人間の中にひそんでいて
ときどきもえさかるのかもしれない
戦争は異常な怪物だ
兵士は誰もが言う家に帰りたい平和な家に
こんな戦争は早く終わって
愛にみちた平和な時代が来ることをみんなが望んでいるんだ
きみも戦争よりは
愛を平和を望むだろうラウル!?

……大火事は
すっかりもえつきないと
消えないね
……
ラウル……
ラウル……！
まて……！
おまえはどうするんだそのままで戦争が終わったらどうするんだ
ラウル！

バーン……
マルシャン
ラウルは？
帰って来た？
まだよ
あの
仕事で　あの子
帰らない日も
あるから……
……何か
あったの？
まって
コーヒー
のんでたのよ
すぐ
わかすわ
……
……

……
マルシャン

……

オレが戦争に行ったのは
きみのような子が親と一緒の家に

幸福に暮らすためだったのに
ラウルのような子が静かな村で育って学校へ行っていい子になるためだったのに

妻が生まれてくる子供の名を考える
その子供のためだったのに

戦争はいちど始まったら終わりだ
平和！正義！そんなものじゃない
戦争は戦争破壊だ平和は平和の中にしかない

どうして
こんな
……!
こんな……!
どうしたの
……
マルシャン
――
どうしたの

なにもかも
きわどい
ところにある
愛も
憎しみも

生も死も

……
マルシャン？
……
なによ
これ……
excuse
—わるかった—
どうしたの？
ルイーズ
きょうは
元気ない
じゃない？
……

ねえ
せっかく
ひさびさに
会ったのに
どうしたのさ
ぶーたれて
カゼひいて
……気分が

じゃあ
キスだけ
ん
うつる
わよ
つめたい
なァ

カレーに
いたんだ
連合軍上陸の
うわさ
知ってる?
なに
それ

春に
なったら
ドーバーで
一戦
まじえる
って
ことさ!
つまり
まだ
戦争が
続くのね
うんざり

うんざりって
なんだい
ドイツ軍は
フランスを
イギリスから
守ってるん
だぜ
きみには
愛国心ってもんが
ないのかい

そんなものは
パンと交換して
食べちゃったわ

帰る!
女は
きみだけじゃ
ないんだ
バタン
……

どこへ行ったの
マルシャン
なぜ
帰って来ないの
ドイツ娘をだいて
後悔してるの
まって
まって……
まって！
え？
あ あなた
こないだ
マルシャンと
一緒だった
人ね
彼帰って
来ないのよ
アパートに
知らない？
あ…そりゃ
心配ないよ
マドモアゼル
オレたちと
一緒だから……
どこよ
つれてって

なんで
つれて来たんだ
このバカ
だって……
帰んなさい
ルイーズ
まずいよ
こんなとこに
来たら
……
あたし……
心配したの
……
ラウルも
この三日
帰って
来ないし……
わたし
ひとりで……

パリを出られるか？
どうして？どこに？
あぶないんだ……
点数かせぎの警察とゲシュタポが
月末あたりモンマルトルの捜査をするらしい
パリを出るっても移動の証明書がないわ
それはこっちで用意する
まだ何人分もつくらなきゃならない
それにラウルは帰らないし……
ラウルは
多分もう帰って来ない
彼は
ロゴスキー暗殺の犯人だ
……暗殺？

きみらが公園で見てた死体もそうだし……
それだけじゃないヴィシーでも何件かやってる

だってそんな
あの子まだ子供よ……
ぼくもひみつがあるよ
とっても愛した人
あの子……まだ……
殺したんだ
……あ……

アパートに帰っててくれ
明日までに証明書をもってくる
そうしたらなるだけ早くパリを出るんだ
あなたも?

わたしひとりで行くのいや

ルイーズ!
ぼくはまだパリでいろいろやることがあるんだ

ひとりじゃいや

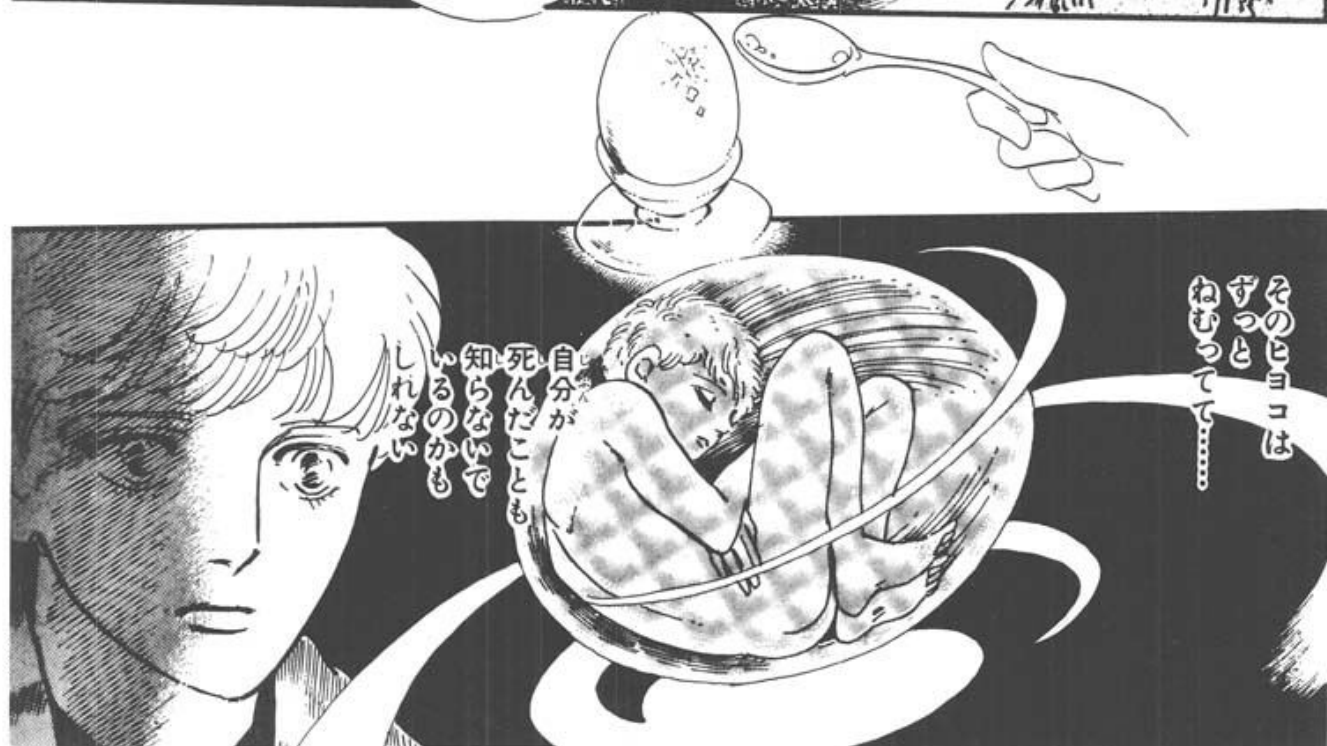
どういう事態かわかってるのか?
収容所送りになりたいのか!?
……
ひとりじゃ行かないわ
……愛してるルイーズ

あたし手伝うわ あなたの仕事
だめだ
きみの安全が ぼくの安心なんだ
言うとおりにしてくれ
すこしのしんぼうだ 春か夏には もう終わる この戦争は
春までだ どこか田舎で――
ねえ ラウルも つれてって いいでしょ
ルイーズ
あの子まだ 小さいのよ
もし そんなことが 本当に あったと しても
わけが わからず 誰かに 操られ てるんだわ
とても いい子なのよ 本当よ
……
カッ
カッ
カッ

かまえ
うてっ！
カチャ

ルイーズ
なにしてるの？
ラウル！
どこ行ってたの！
あたしたち二・三日中にパリを出て田舎に行くのよ
田舎？
マルシャンがキップや証明書をもって来てくれるわ
……ニューヨークには？
パパを捜しに行くんでしょ……？
…ああ
それは……
いつかね

ぼく ほんとに
ニューヨーク行きの
キップ手に入れるよ
ねえ
田舎も
いいわよ…
スミレ？
すてき
春が来るわ
春が来れば
戦争は
終わるわ
ね
ラウル
ねえ
あんたいつも
聞いてたわね
死んでるって
どんな気分？
人殺しって
どんな気分？
あんたは
知ってるの？
ラウル
………
殺したって
言ってた
あのこと
……
ほんと…？
でも……

なにか わけが あったんで しょ？
でなけりゃ…… うそでしょ……？
……
タマゴの 中に
死んだヒヨコが 入ってるんだ
孵化しないで カラを割れ ないで 死んだ 黒い ヒヨコ
見たこと ある？ ルイーズ
そのヒヨコは ずっと ねむってて……
自分が 死んだことも 知らないで いるのかも しれない

ぼくは目を覚ましてカラの外に出たくて
ママを殺して村をとびだしたけど
村からずいぶん遠くへ来たけど……
まだ自分が生きてるのか死んでるのか
わからない
なにを言ってるの？ラウル
……ぼくは人殺しが好きなんだ
この時代のみんなが戦争に愛されてるように
きっと殺人に愛されてるんだよ
あなたは生きてるわよ！
みんな生きてるわよ！
あなたがくれたスミレだって生きてるわよ！
しっかりして
これまでのこと忘れてやりなおせるわ
目を覚ますのよ

ねえ
しっかり
目を
覚まして
目を
覚まして
ほら
もう
目が
覚めた！
ラウル！
バタン!!

カン
カン
カン
カン……
カン
カン
コツ
コツ
コツ
何人もの
くつおと
マルシャン
……？
ガチャ！
ビク
おい
ここを
開けろ！
ダンダン
ダン
ユダヤ娘が
いるはずだ
！

どうして
この涙？
ぼく
涙なんか
はじめてだ
なぜ？
なぜ？
ドン
どこだ？
ドタ
ラウル！
ああ
ああ
ラウル！
リリー
……
……
ルイーズは
逃げたの？
え……
あんた
ゲシュタポの
トラック
見なかっ
たの!?

カタン
こっちだ!
まて!
撃つぞ

ゲシュタポの
車だ！
ルイーズは
？
ああ！

キャアアア
ルイーズ！

なんだ？
女の子が………

女の子だ
女の子だ

花うさぎの……

マルシャン！
まて

まてったら

はこべ
…6階からおちちゃひとたまりもないよ
……
ル……
ルイーズ
ルイーズ……
なんだきさまは
じゃまだどけ!
……
ルイ……

マルシャン！
マルシャン

オヤ

いつからそこにいたね？
お入りよすっかり冷えて

飲むかね
きょうターゲットを殺ったねしかしだいぶいたんな
射撃場のわきの彼の部屋で撃ったんだろ？

きみぐらいの少年を軍当局が捜しまわってるよ……
……
どうした？

あんた
うそつきだ

ロゴスキーの
リストを
焼かなかっ
たね

まて
いや
あれは
どこかに
コピーが
あった
らしいんだ

え
彼女は
つかまっ
たのか

コネが
きくから
助けて
あげるよ
そうだ
それに
キップ
ニューヨーク
行きの
あれ
……

……
マルシャン…
まだ動かない
ほうがいい
オレが
ついてるから
今夜は
休んでくれ
ここには誰も
来ないから
マルシャン
ジロ
オレが
まちがって
たよ……
おまえの
言うとおり
テロは必要だ……
マルシャン
今後のことは
ゆっくり
考えよう
あいつら
ロゴスキーの
リストを
手に入れ
たんだな
それで
月末まで
またずに
……
おまえも
あぶない
な　ジロ
オレは
なんとでも
なるよ
どこに
行くんだ
マルシャン
ひとりに
してくれ
……
オレは
ここで
まってる
から
マルシャン
仕事は
いっぱい
あるぞ

ラウル

マルシャン
おいで

マルシャン……
ぼくは多分 なにか 忘れて 生まれて きたんだね
だって ぼくは 好きなんだ
この 戦争が
この長い 冬が
苦しがって 血を流している 世界が
とても いとおしいんだ

ズガーン…

誰がおまえを
裁くだろう？
愛も殺人も
同じものだと言う
おまえを？

こんどは子供の死体だそうよ……
雪が降ったものねえ
もうすぐ春だ
春が来れば戦争は終わるよ
春
春!
春は来るのか
タマゴの中の死んだヒナのように

プチフラワー　1984年3月号に掲載

天使の擬態

鎌倉の
海も空も
寒い色ね
でも
ねむく
なつて
きた
よかつた
さア
これできつと
天使に
なれるわ
……い
おい……
おい…
おい……
うるさい
なア

いやだ
苦しい
何するの
ガーー
何するのよ!!
あいちーっ
ワンワン
ワンワン
あたし
翼がほしい
死んだら
天使に
なれるかしら
アラ
天国だわ
……

!
ああ
起きたか
……
ヨーゼフ!
がしがし
ああ
おはよう
あなた
えっ?
何?
誰?
……
パチクリ
あなた
顔洗って
台所きて
一緒に
朝ごはん
食べます
ね
ハイ
タオル
……
クンクン
ワン

ここは……誰のお宅ですか……

ここは教会です 画塾もやってます

ミルクをどうぞ

あんたに
ひっかかれ
たんだ

覚えて
ないわ
あたしに
何か
したの?

指つっこんで
薬をはかせ
たんだ
ラリって
たんで

……
このクスリ
飲んだ
のね
これ
精神安定剤
ひとびん
飲んでも
死なない
ねむるだけ

え?
ねむる
だけ?
えーっ……
あなた
健康
よかった
わたし
むかし
戦争中
お医者さん
今は
神父さん

ねむり
ぐすり
ヨ
ママがいつも
飲んでたのは
じゃ　ただの
…

ああ
何だ……
晴れた朝
あたしは
天使になる
どころか
生きてて
おなかすいたり
してて
バカ
みたい
……

バカみたい
たァ
何だ!

はためいわくなことするな！本気の自殺なら人のいないとこでやれ！
……
人なんか
いなかったわよ雨だし
寒い浜に何しにきたのよ
ジロウの散歩だ！
ジロウが見つけなきゃ今頃肺炎だぞおまえは
よしなさいシロウ
お家の人心配してるあなた
心配なんかしてないわ家誰もいないし
ちょっと待てよ！
なんつー態度や！人に世話かけてその口のききようは！
めいわくだったらほっときゃよかったでしょ
なんやと！

何よ
あなた
神父でしょ
神父が
どなっていいの
神父は
ヨーゼフや
オレは
下宿人や！
シロウ

あたし
帰ります
お世話さま
ヨーゼフさん
コーヒーを
どうも

待って

これ
あげます

また
コーヒー
飲みにおいで
二度と
くるな
助けなきゃ
よかったっ

バタン

シロウは
バカです
ねえ
オレは
バカと
ちゃう
子供と
ちゃう
あんな
子供相手に
シロウも
子供ね
短気な
だけやっ

出口
あーあ 大声で どなっちゃって
……やだもう
朝っぱらから
あたしが ひっかいた からね きっと
パパと ママと 姉さん からか

姉は今年の春結婚して岡山へ

両親は先週から仕事で二人でボストンへ

あたしは気楽な一人暮らし

プカ

……しかたない

また明日からガッコ行くか

ヨコハマ　アドリア　女子学園

わあ次子!

どーしたのあんたが先週休んでるまに

決まっちゃったわよ!

決まった？
何が？
来月の文化祭の出しものよ！
うちのサークルおでん屋やるからね！
もうメニューもできたのよ！

文様研究会がおでん屋を…？
あらみつまめもあるのよ
かすりの着物きてゲタはいて

文化祭にくるから
うちのアニキ紹介するわね
マット・ディロンに似てるってほんとと？
見たぁいうちのカレなんてB作よB作
キャア

ほら次子！
あんたも少しはアイデア出してよ
誰誘おうかなァ
本命は？
デートに電車なんてダッサイ
クルマよクルマ
つまんない男なんて

本気ィ？
楽しんでんのに水ささないでよ
また寝たふり！
クー

失恋でもしたの？次子
ヒソ
彼と別れたのは春よォ
新しいのつくればいいのに

顔のキズ
なおったかな……
パン
パパパン
キャー
キャー
アドリア学
文化祭
コーヒー
飲みに
おいで
ほら
リボン
結べば
かわいい
じゃないの
次子
今日は
ぶーたれて
ないでねっ
お客が
いっぱい
くんだから!
いらっ
しゃい
ませー
みつまめ
ちくわ
たまご
一つー
キャー
マックの
アニキが
きたわよ

K大三年です
妹がいつも
どこがマット・ディロンよ
あれじゃビートたけしよ
みつまめまだーっ?
おはしがないけどー
ハーイ
ハイハイ
みんなどこよっ
あのーお茶
ハーーイ
くる
ごめーん
あ
ジロウ!
あれ
ジロウは犬
オレはシロウ
次子知り合い?
いらっしゃいませえ

学校案内してあげなさいよ！
ここはいいから
何よべつに……
気ィきかせてんじゃない
友情よ友情
オジンね
もォ
勝手に気ィまわしておもしろがって
あんたここの生徒？
オレ来週からここの先生
は……
アリスさーん西門のバザーもう終わったァ
まだやってまーす

先生かァ 何教えるの？
生物学
これ 何？
これ 進化論の本だ
むずかしそう
きみ 一年
ええ
じゃ お互いに新前だな
……
シロウ先生っていうの？
織田
だよ
ふーん
"きみ 一年" だって "きみ"
織田 シロウかァ
"おまえは" ってどなつたのにね

いくつかな
25…？ 30…？
32…？ ぐらい
オジンね
先生とはね
第一印象まずったなァ
進化論なんて読んでさ
人間はバクテリアから進化したなんて授業で言うのね
人間は天使に進化しないのかしら
先月浜辺で拾った子
今度の学校の生徒だぜ
まいったぜ
ほーエンですねえ
元気ならよかった
何であんなことしたんでしょ
さァ失恋でもしたんかな
若いね
もう30すぎたら
トウがたってて失恋じゃ死ねへんで
わたしは死ねますよ
イヤ自殺じゃなくて失恋してショック死とか…
……若いね

えー!!
生物学の新しい先生ってェ
それが文化祭のときの次子のカレよ
次子!?
あのオジン!
まだよ!
ゴホン
ゴホン
クス
キンチョーしてる
今日から生物学を受けもつ織田四郎だ
よろしく
まず出席をとる
MOON LIGHT

ヤダー
……な……

さわぐな！

何がおかしい

何がおかしいんだ

まいっちゃーう
堂どうとペア・ルック
お似合いよォ
こんな服はどこにでもある!!
心が通い合ってるのよ

やだー！
先生ムリしないで
おまえらがうるさいからだ
あたしが脱げばいいんでしょ！
ガタ
次子！
やめなさいよ
ドサッ
……

出席だけとってあと自習よォ
授業になんないわよね
へんよ次子ムキになって
有栖川
あのな
知ってるわ
てこずる生徒だって思ってんでしょ
そォいうわけじゃない
最初っから印象悪かったしねあたし
仲良く勉強やろうや
いや着物は……かわいかった
だからな……
お互いに新前だけど

清く正しい師弟関係ね
グー
そうよ
どうかしてるわあたし
ムキになってへん
この人先生なんだから
これは重要じゃない
ほかしていいぞ
ほかしてって何ですかあ
はァ？
そう言わんか捨てるのを
それ方言ですよォ
じゃヨコハマ弁で何て言うんだ
キャーー
ヨコハマ弁だって!!

どォです
ガッコ
まァ
女の子って
かしましい
ね

出生は
長崎だが
育ったのは
関西だ
うちは
おばあ
ちゃんちが
嵐山
だわ

イントネー
ション
へんか？
少し
関東と違う
西の
個性だな
これも

次子
つき合い
やすく
なった
じゃん
前より
まじめに
ガッコに
きてるし
次子って
オジン好み
だったの
ねえ

はい？

ボストンから
国際TEL
です

次子ちゃん？
！
ママ！
そちらは変わりない？
ないわよ
ちゃんと生活してるわね あなたはしっかりしてるから安心だけど
ええ だいじょうぶ
一子ちゃんのこと聞いた？
姉さん？岡山の？
来年の春おめでたですって

……
フーン
もう パパと一緒に大喜びよ
でも一ちゃんはママに似て腰が細いから心配だわ

今度こそ男の子だ！
あ 聞こえた？ そうなの パパったらそればかり
ママだって男の子が欲しかったのよ
でも次子ちゃんが生まれたとき腰をいためて
何せ もう赤ちゃんを だっこもおんぶもいけない 一生寝たきりだと言われたぐらいだったからね
ええ…… そうだって ね

一ちゃんも心配だわ初産だし
そうね
パパったら男の子だぞ！
ウン
姉さんにも電話しておくわ
そうね
そうね男の子だといいわね
ええ
来月帰るのね
ええ
はい
はい
はいさようなら

この二重らせんのとこはテストに出すぞ！
どん
センセエ
も少しやさしい範囲にしません？
いい質問だ
おまえらは流行にビンカンなヤングアダルトだ
そしてまた生物学界で分子生物学ぐらいナウい学問はないんだぞ！
どど
人間はバクテリアから
進化したのだ！
進化の解明とハゲ薬の発明はノーベル賞もんだぞ！
きみのクラスさわがしいね
アどうも
今日はもう授業終わり 先生
ああ
帰るの？
あたしも鎌倉に行くの姉の安産のお守り買うんだ
鎌倉の八幡宮か？
へー

ヨコスカ線?
そう
ピク
ピタッ
SIGNAL
スッ
先生
電車がきたわよ!
何だ?
誰だ? 今の

聞きたいが
しかし……
ガタン
ガタン
ガタン
先生の授業
進化の話おもしろいわ
そうかおもしろいかおもしろいだろう?
人間に翼はえない?先生
は……?翼?
飛びたい飛びたいって手を動かしていたら翼はえない?
ダーウィンが言ってない?
ダーウィンは言わん
それはラマルクの用不用説のことだろう

つまり
キリンの首が
長いのは
高い木の葉を
食べるために
首を伸ばし続けた
せいだと
のびっ
ラマルクって
シンプルで
すてき

ダーウィンは
自然淘汰説だ
生物には
個体差が
あって
生存に適した
ものが
生き残る

キリンの首が
長いのは
ちょっとでも
長い首のが
生き残って
それが
くりかえされた
結果だと
いうわけ
個体差
かァ

例えば
突然変異で
翼がはえても
生き残れる
環境が
必要なのね
お守り
買えよ

教会に
よってくか?
ヨーゼフが
喜ぶぞ

じゃあ
おみやげ
もってこう
神父さん
どんな花が
好きかな
……
花

ジロウ！
キャン

わ かわいい クッション！
それは インカの ししゅう ですよ

翼みたい
翼のある 神さま ですね

世界中の 伝説に あるのね
翼をもつ 人間が

いつか 人間は 翼をもつ 天使に 進化するの かしら？

きて よかった
駅まで 送るよ

あんたの発想はおもしろいね
それで思い出した
指向性進化論ってやつだ

もともと生物はその種の完成された形に向かって進化していくという説だ
化石で追ってくとウマとかゾウとか
現在の姿に向かって進化している

もしかして人間は……

まだ進化の途中なだけで……

本当に天使になるかもしれない……

ここでいいわ
さよなら
先生!

ホント
そーよ
ヨコハマ駅で腕くんでヨコスカ線のホームにいたのよあの二人
次子ォ！
何でもないわよ
先生とカマクラに行ったのォ？
デートしたの？
たまたま一緒になったのよ
先生次子に親切だもの
八幡宮に安産のお守り買いに行っただけ！
安産！
姉のよ
ウッソー
ほんとにお姉さんのォ

何だ…
……わたしは
この人とは
関係
ありません!!
ダッ
有栖川!
オイ
このプリント
やっとけ!
何
あれ
!
ヒーキ
ヒーキ
次子
ヒステリー
だわ!
ワヤワヤ
ブーブー

おい！
友達にからかわれたぐらいでなんだ
かまわないで！
あたし先生のこと何とも思ってませんから
……横浜の駅で会った男が好きなのか
──誰がそんなこと
……誰も
……そいつとつき合ってるのか

誰ともつき合ってなんかいないわ
何であたしに聞くんですか
聞きたいからだ
薬を飲んだのはそいつのせいか
しまった
へんだわ
あたしと先生は進化論の話をしただけでしょ
こんな話はよそう!
有栖川
よしましょう
あのな
前向きにいこうや

前向きの
姿勢こそが
生命体の
進化を
促すんだぞ

あたし
コロリと
忘れてたわ

進化において
淘汰された側が
あるってこと

翼なんか

いらないのよ……

次子の彼氏？
いいのかなァ話して……
マロンタルトとチーズケーキ
とにかくもう別れたみたいよ
いつ頃？
今年の5月か6月頃ね
同じ高校のねカップルだったけど……
その人国立いっちゃって…学校がべつべつだとね……新しい彼女でもできたんじゃない…？ もてたし…
次子は話したがんないし……
どんな男？
写真見せようか
待って
ドララ
あこれね西源寺クン
ハンサムでフェミニストなのよ
何？
平凡な顔じゃんか……
別れても好きな人……か
いや

ピンポーン
ピンポーン
先生……
カゼ?
ええ
これ
お見まい

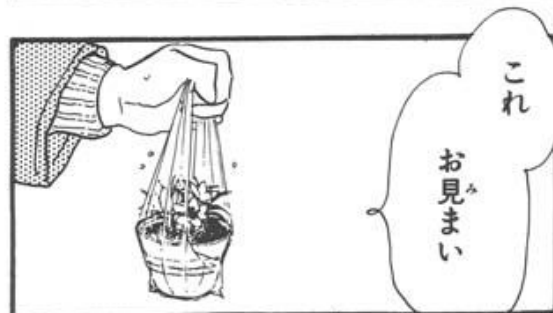
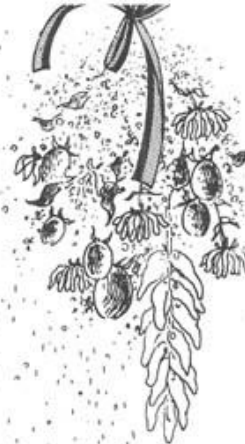
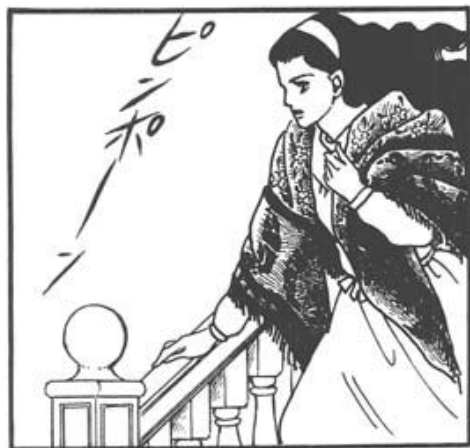
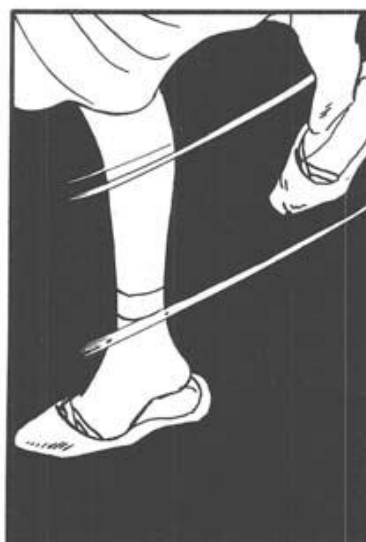
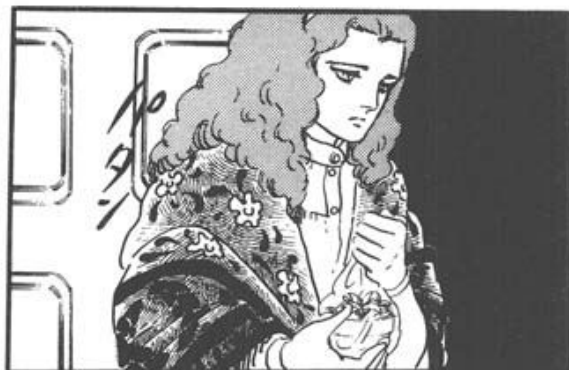
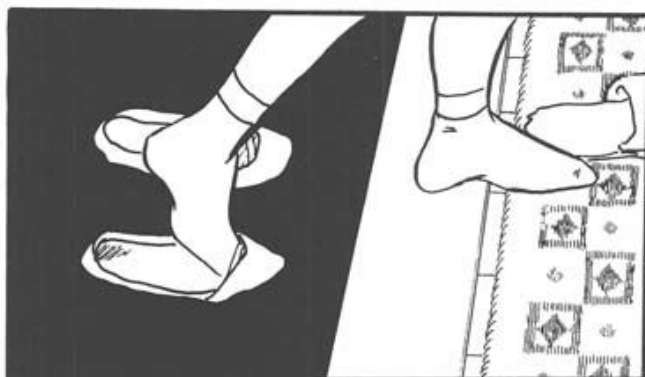
ま……元気になったら学校こい

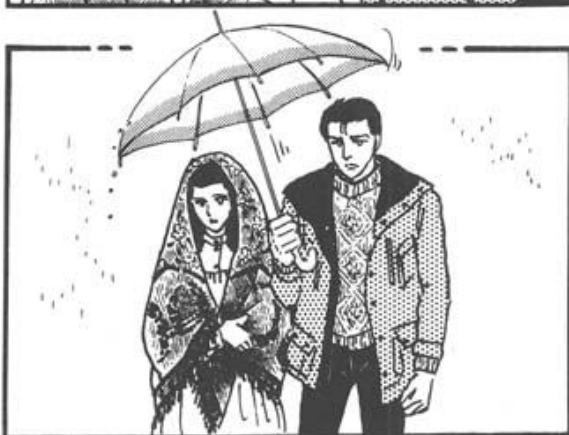
じゃ
バッ

パタン

先生

先生

……駅まで送るわ
何してんだ
カゼひいてるんだろう!?

バスが
くるから
いいよ
カゼは
なおったのよ
バス停まで
送る

ここら
いいとこ
だな
この先に
港のみえる丘
公園があるのよ
晴れてたら
いいながめよ

晴れたら
また
くるか

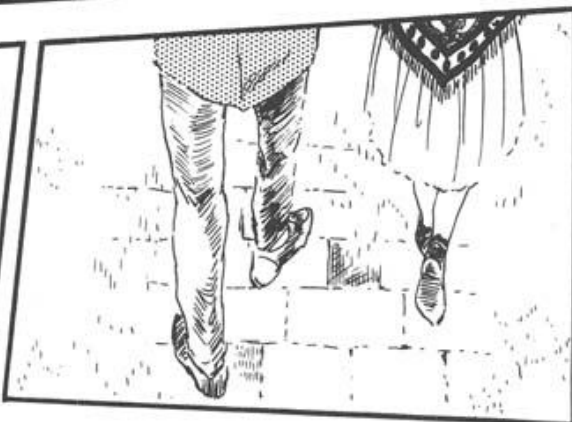
おもしろいぞ
最新の
進化論に
パンスペルミア
説ってのが
あってな
これが
SFだ
まるで

生命は
宇宙から
きたって
いうんだ
地球に落ちた
隕石に
バクテリアが
くっついてて
海の
生命は
そこから
生まれた
問題は
じゃ宇宙の
バクテリアは
どこの産
なんだって
ことだ

あたし 前 つき合ってる 人がいたの
高校の頃ね 同じ大学 目指してた
でも 入試のとき 淘汰されて 彼は国立へ わたしは落ちて 女子大へ
5月の G・Wに 一緒に 旅行したの 誰にも ないしょで
……そのあと 別れちゃった
……ふ……
ふられたのか
……
……
……だから

6月末に
あたし
子供をね
おろし
たの

ふったとか
ふられたとか
いうのと
違うの
わたし一人でも
育てようって
思わなかった
から
自分で
決めたの
その人
手術代
半額
出したわ
友達も
両親も
……
知らない
ことなの

今でも
好きなのか

ううん
心って
不思議ね
ぜんぜん
しらけ
ちゃって……
あんなに
好きだった
人なのにね

でも
子供は
かわいそ……

あたしなんかに宿って
あたし悪い人間だから
死にでもしなけりゃきれいになれないのよね

でも考えてみれば
あたしみたいな進化にはずれたオチコボレが
天使になりたいとか翼が欲しいとかいうの
つくづくずうずうしいと思うわ

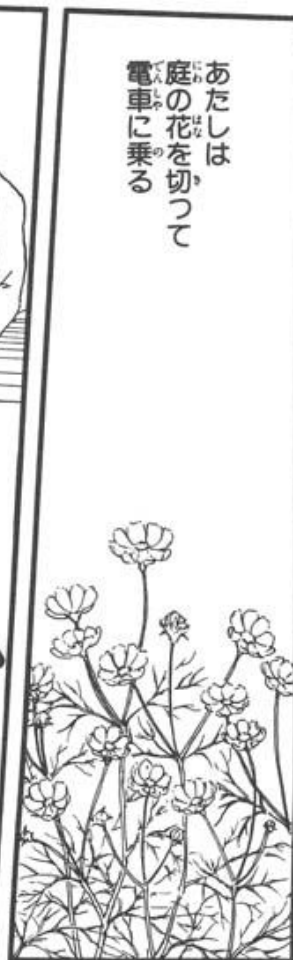
先生バスよ

ワンマン
山の手

……天使になったのはその子供だ
おまえその子に翼が欲しいんだ
う……
……

ヒック

うちのアニキがねー
スキー場のバイトやるから
みんなでこないかって冬休み
マット・ディロンのお兄さま？
ビートたけしでしょ！
その前にテストよォ
次子織田先生にヤマ聞いてよ
マジメに勉強すんの
やーねマメになって
あたしは庭の花を切って電車に乗る
駅で先生が待っている
姉には安産のお守りを送った
いつか

プチフラワー　1984年11月号に掲載

訪問者——完——

●エッセイ

私のルーツ、萩尾まんが

折原みと

私のまんが家としてのルーツが、萩尾望都だと言ったら、萩尾ファンの失笑をかうだろうか？

この本を読んでいる萩尾ファンが、折原みとのまんがを読んだことがあればの話だが、この超ブリブリフツーの女の子向け恋愛少女まんが家（自分でゆーかな？）の私が、実は萩尾望都の影響を受けていたとは誰も信じないだろう。

とはいえ、誰も信じてくれなくても、本人だけは信じている。

私のルーツは、断じて〝萩尾望都〟にあると！

私が萩尾まんがと出会ったのは、小学校5年生の頃、第2次反抗期を迎え、ようやく自我に目覚めた頃だった。

それまでの私といえば、親の言うことをよく聞く素直でおとなしい〝よい子〟。

それが、どういうわけか突然屈折したらしく、急に〝人生とは〟〝愛とは〟〝死とは〟…とかって、わかりもしないのに真剣に考えはじめたのもこの頃だ。

自然、読書傾向も変わった。
それまでは児童向けの童話や世界の名作子供文庫を読んでいたのが、いきなり哲学書やら自殺した青年の手記なんてものばかり読むようになった（ちゃんと理解していたかどうかは疑問だが）。
まんがも、それまでの「マーガレット」や「フレンド」、「りぼん」、「なかよし」路線から、「少女コミック」系統に変わった。
今はどうだかわからないが、私が小学校5年生当時の「少女コミック」は、他の少女雑誌に比べて少しマニアックだった。
それまでまんがといえば『ベルばら』『エースをねらえ！』『はいからさんが通る』と来た私は、そこでいきなり萩尾望都や竹宮恵子、大島弓子のまんがに夢中になったのだ（とはいっても並行して『キャンディ・キャンディ』も読んでたけど）。
私が小5から中1くらいまでの3年程だから、一九七四年から七六年くらいまでの間だろうか。
当時の「別冊少女コミック」は、まさに古きよき〝黄金時代〟だったような気がする。
萩尾望都の『ポーの一族』が掲載されていたし、竹宮恵子が『シルベスターの星から』や初期の『変奏曲』シリーズのような、まだ煩悩（ぼんのう）にはしりすぎていない（あっ、ごめんな

さい）作品を発表していた。
大島弓子の読み切りも好きだったし、名香智子の『美女姫シリーズ』も好きだった。
吉田秋生もこの少し後のデビューだったろうか？
けれど、それからしばらくすると、なんだか「別コミ」にも、フツーの恋愛まんがが増えてきたような気がして、つまらなくなって買うのをやめてしまった。
「週コミ」を毎週買う程お金がなかったので、萩尾望都のまんがも読まなくなってしまった。
高校生になって、「プチフラワー」あたりで再会した時には、何だか絵も話も、以前より大人びてしまったように思えて、昔ほど夢中にはなれなかった。
小5の頃、やっと自我に目覚めた私は、〝フツーの子〟であることがいやで、フツーよりマニアックなものに魅かれた。
けれど、しばらく〝フツーじゃない子〟をやっているうちに、あえて〝フツーじゃない子〟になろうとすることが実はとっても〝フツー〟だったということに気づき、今度はどっから見ても〝フツー〟なことのほうが、かえってカッコいいように思えてきた。
ことさらに〝フツー〟になろうとした私は、マニアックなものを意識的に避け、いつのまにか、萩尾望都のまんがからも遠ざかっていた。

昔あれ程ハマっていた『ポーの一族』や『トーマの心臓』を読み返したのも、少女まんが家としてデビューして数年たってからだ。

けれど、久しぶりに読み返してみて驚いた。

似ているのだ。

萩尾望都のまんがのセリフまわしと、私のまんがや小説の文体が…だ。

と言うと、「どこがだ!?」と罵声が飛んできそうだけれど、自分にはハッキリわかる。

一応韻を踏んで、リズミカルにと心がけている私の文体は、まちがいなく、萩尾望都の影響を強く受けているのだ。

思えば、私が萩尾望都作品に心酔していた年頃は、ちょうど思春期で、一番心がやわらかい時。

その頃に1ページ1ページなめるようにスミズミまで読んだ萩尾望都のまんがは、確かに、私の人間性の一部や、作家としての基礎の部分を形づくってくれたはずだ。

それに気がついて以来、雑誌のインタビューなどで、「影響されたまんが家は?」と聞かされると、必ず「萩尾望都先生」と答えているのに、みんな「へえー、意外ですね」と疑わしそうな顔をするのがちょっと悲しい（そりゃ、似ても似つかないモンを描いてるけどさ）。

それにしても今にして思えば、萩尾作品に夢中だった小5から中1くらいの3年間は、私の人生の中で、最も感性が鋭くて、物事を真剣に考えていた時期だったような気がする。

当時の萩尾作品を読むと、その頃の純粋さの、何分の一かでもよみがえってくるような気がするので、今でも時々、真夜中にシミジミ読み返したりする。

『トーマの心臓』を読んだのは、小学校の卒業式の日だった。

ちょっとひねくれていた私は、クラスメイト達が泣いてる時も、ひとりだけシラっとしていたのに、学校帰りに買った『トーマの心臓』のコミックス3巻をまとめ読みした後、せきを切ったように涙があふれた。

ユーリが神学校へ旅立って行くラストシーンに、ようやく自分自身の〝卒業〟と、友達との別れを実感したのだ。

『ポーの一族』のアランが死んだ時には、友人とバラの花を買って、学校の裏庭でお葬式をした。

今思えば大笑いのはずかしいエピソードだが、その頃の私は大マジメだった。

萩尾望都のまんがは、私の作家としてのルーツというだけでなく、愛おしくもなつかしい、少女時代の真剣な自分を思い出させてくれる〝聖域〟なのだ。

ところで、今回の『訪問者』の主役でもあるオスカー少年だが、『トーマの心臓』での

成長した彼は、萩尾作品の中で、私の一番好きなキャラクターだったりする。
白い髪の人（白髪（しらが）ではなく）で女顔でクールで包容力のあるおにーさんぽいワキ役キャラを
私も時々作品の中に登場させてしまうが、そのモデルが実はオスカーだと言ったら…。
やっぱり、誰にも信じてはもらえないだろうか？
大先輩の諸先生方、文中、敬称略の失礼をお許し下さい。

折原みと

一月二七日、茨城県石岡市に生まれる。みずがめ座、血液型はB。少女まんが家・ジュニア小説家。八五年にまんが家デビュー、八八年『夢みるように、愛したい』で少女小説に進出、以後、両分野で大活躍を続けている。代表作に、映画化もされた『時の輝き』のほか『たくさんの天使たち』『真夜中を駆け抜ける』などがある。

青りんご迷宮

全1巻

えり子と武留が再会したのは彼女の高校入学の日。2人が生死の一夜をともにした、あの夏の日から3年が過ぎていた。長編ラブロマン！

エッセイ：竹本泉

円舞曲(ワルツ)は白いドレスで

全4巻

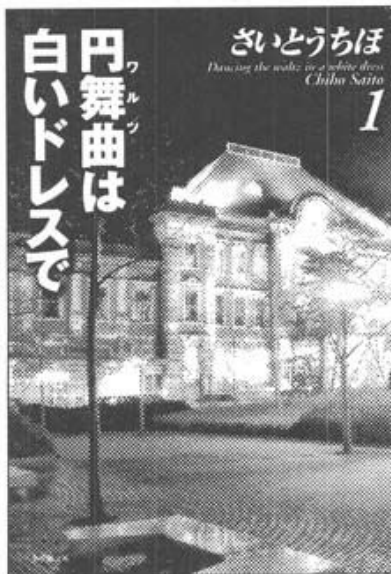
青樹湖都は美しい夢をもっていた。初めての舞踏会には白いドレスを…。太平洋戦争前夜の激しい恋を描くドラマチック・ロマンス。

エッセイ：①三石琴乃②杜けあき③幾原邦彦④乃南アサ

もう一人のマリオネット　全4巻

萩野七生の演劇的才能を見抜き、強引に自分の劇団に入団させた演出家・神真之。だが、神は恐ろしい秘密を抱えていた。愛と戦慄のサイコ・ロマン！

エッセイ：①加藤昌史②伊東恵里③清水ちなみ④加納幸和

小学館文庫

訪問者

1995年9月1日初版第1刷発行（検印廃止）
2002年7月1日　　第15刷発行

著　者 ―――――― 萩尾望都

発行者 ―――――― 辻本吉昭

印刷所 ―――――― 図書印刷株式会社

発行所 ―――――― 株式会社　小学館

101-8001　東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
振替（00180-1-200）
TEL　販売 03-3230-5749
　　　編集 03-3230-5456

編集人 ―― 毛利和夫　　編集協力 ―― 小学館クリエイティブ

ISBN 4-09-191014-9